

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザイン I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	就職の心構え	31
	2	自己分析（1）	32
	3	自己分析（2）	33
	4	自己分析（3）	34
	5	自己分析（4）	35
	6	自己PR作成（1）	36
	7	自己PR作成（2）	37
	8	自己PR作成（3）	38
	9	自己PR作成（4）	39
	10	効果測定 自己PR	40
	11	筆記試験とは	41
	12	一般常識対策（1）	42
	13	一般常識対策（2）	43
	14	適性試験対策（1）	44
	15	適性試験対策（2）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITキャリアデザインII	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの習得及び実演	
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習	
達成目標	面接時の多角的な質問に受け答え出来るようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1 面接試験とは 2 面接試験における質問研究（1） 3 面接試験における質問研究（2） 4 面接試験における質問研究（3） 5 説明会・選考試験とは 6 入退室方法の確認 7 面接力トレーニング（1） 8 面接力トレーニング（2） 9 応募書類の準備 10 履歴書作成（1） 11 履歴書作成（2） 12 履歴書作成（3） 13 仕事・会社選びの基礎知識 14 企業研究シート作成（1） 15 企業研究シート作成（2） 16 企業研究シート作成（3） 17 志望動機作成（1） 18 志望動機作成（2） 19 志望動機作成（3） 20 面接力トレーニング（3） 21 面接力トレーニング（4） 22 面接試験における質問研究（4） 23 面接試験における質問研究（5） 24 面接試験における質問研究（6） 25 面接力トレーニング（5） 26 面接力トレーニング（6） 27 エントリーシート作成（1） 28 エントリーシート作成（2） 29 エントリーシート作成（3） 30 作文演習（1）	31 作文演習（2） 32 インターネットによるアクセス 33 電子メールによるアクセス 34 電話によるアクセス 35 電話応対実践（1） 36 電話応対実践（2） 37 電話応対実践（3） 38 効果測定 電話応対 39 就職活動における自己管理 40 面接トレーニング（7） 41 面接トレーニング（8） 42 就職マニュアルの確認 43 就職システムの利用方法 44 面接トレーニング（9） 45 面接トレーニング（10） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	一般教養 I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	社会人として必要な一般常識の習得、適性試験対策、漢字の習得		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義		
達成目標	各項目での演習問題で合格点を達成する		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	一般常識対策（1）	31
	2	一般常識対策（2）	32
	3	一般常識対策（3）	33
	4	一般常識対策（4）	34
	5	一般常識対策（5）	35
	6	適性試験対策（1）	36
	7	適性試験対策（2）	37
	8	適性試験対策（3）	38
	9	適性試験対策（4）	39
	10	適性試験対策（5）	40
	11	漢字試験対策（1）	41
	12	漢字試験対策（2）	42
	13	漢字試験対策（3）	43
	14	漢字試験対策（4）	44
	15	効果測定 漢字	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	IT基礎知識 I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	ITパスポート試験の学習を行う		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	ITパスポート試験に出題される内容を理解する		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	ストラテジ系（1）	31
	2	ストラテジ系（2）	32
	3	ストラテジ系（3）	33
	4	ストラテジ系（4）	34
	5	マネジメント系（1）	35
	6	マネジメント系（2）	36
	7	問題演習	37
	8	テクノロジー系（1）	38
	9	テクノロジー系（2）	39
	10	テクノロジー系（3）	40
	11	テクノロジー系（4）	41
	12	テクノロジー系（5）	42
	13	テクノロジー系（6）	43
	14	テクノロジー系（7）	44
	15	問題演習	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	IT基礎知識 II		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	演習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	ITパスポート試験の問題演習を行う		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義		
達成目標	ITパスポート試験で合格点を取得できるようになる		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	総合問題演習（1）	31
	2	総合問題演習（2）	32
	3	総合問題演習（3）	33
	4	総合問題演習（4）	34
	5	総合問題演習（5）	35
	6	総合問題演習（6）	36
	7	総合問題演習（7）	37
	8	総合問題演習（8）	38
	9	総合問題演習（9）	39
	10	総合問題演習（10）	40
	11	総合問題演習（11）	41
	12	総合問題演習（12）	42
	13	直前対策問題演習（1）	43
	14	直前対策問題演習（2）	44
	15	模擬試験	45
	16		46
		47	
		48	
		49	
		50	
		51	
		52	
		53	
		54	
		55	
		56	
		57	
		58	
		59	
		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	コンピュータリテラシー		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	講義・実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	Word、PowerPoint、Excelの操作を学習する		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	基本的な操作を習得する		
教科書	情報利活用 基本演習 Office2016対応（日経BP）		
特記			
授業計画	1	コンピューターの基本操作	31
	2	一般的なビジネス文書の作成	32
	3	シンプルなレポートや報告書の作成	33
	4	表、画像、図形を使った文書の作成	34
	5	効果測定 文書作成	35
	6	プレゼンテーションの企画	36
	7	わかりやすいストーリー構成	37
	8	センスアップするレイアウトデザイン	38
	9	イメージを伝えるイラスト・写真活用	39
	10	効果測定 プレゼンテーション	40
	11	表作成の基本操作	41
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作	42
	13	数式・関数を活用した集計表の作成	43
	14	グラフの基本	44
	15	効果測定 表計算	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	HTML／CSS		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	講義・実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	HTML／CSS		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	HTML／CSSを使用してWebページの作成ができる		
教科書	いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本（インプレス）		
特記			
授業計画	1	Webサイト作成準備	31
	2	HTMLの基本	32
	3	HTML文書の設計	33
	4	共通ページから個別ページの作成（1）	34
	5	共通ページから個別ページの作成（2）	35
	6	CSSの基本（1）	36
	7	CSSの基本（2）	37
	8	CSSで共通部分をデザインする（1）	38
	9	CSSで共通部分をデザインする（2）	39
	10	コンテンツのデザインを整える（1）	40
	11	コンテンツのデザインを整える（2）	41
	12	スマートフォンに対応させる（1）	42
	13	スマートフォンに対応させる（2）	43
	14	Webサイトを公開する・機能追加	44
	15	効果測定 HTML/CSS	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	データベース		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	講義・実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる		
教科書	スッキリわかるSQL入門 第2版（インプレス）		
特記			
授業計画	1	初めてのSQL	31
	2	基本文法と4大命令	32
	3	操作する行の絞り込み(1)	33
	4	操作する行の絞り込み(2)	34
	5	検索結果の加工	35
	6	式と関数	36
	7	集計とグループ化	37
	8	副問い合わせ	38
	9	複数テーブルの問い合わせ	39
	10	トランザクション	40
	11	テーブルの作成	41
	12	さまざまな支援機能	42
	13	テーブルの設計(1)	43
	14	テーブルの設計(2)	44
	15	効果測定 データベース	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B-1	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	決算等の会計、勘定形式の報告書類の理解、企業取引の会計処理の理解を目的と	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 簿記一巡の手続きと財務諸表（基礎編） 2 現金預金（基礎編） 3 債権・債務（基礎編） 4 棚卸資産（基礎編） 5 有価証券（1）（基礎編） 6 有価証券（2）（基礎編） 7 固定資産（1）（基礎編） 8 固定資産（2）（基礎編） 9 固定資産（3）（基礎編） 10 固定資産（4）（基礎編） 11 債務保証（基礎編） 12 引当金（基礎編） 13 収益と費用（基礎編） 14 為替換算会計（基礎編） 15 株式会社の純資産（基礎編） 16 企業結合（基礎編） 17 確認テスト（第1回） 18 税金（1）（基礎編） 19 税金（2）（基礎編） 20 伝票と帳簿（基礎編） 21 決算（1）（基礎編） 22 決算（2）（基礎編） 23 本支店会計（1）（基礎編） 24 本支店会計（2）（基礎編） 25 連結会計（1）（基礎編） 26 連結会計（2）（基礎編） 27 連結会計（3）（基礎編） 28 連結会計（4）（基礎編） 29 連結会計（5）（基礎編） 30 確認テスト（第2回）	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B-1	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算基礎の習得を目的とす	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記の基礎（基礎編） 2 個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編） 3 材料費会計（基礎編） 4 労務費会計（基礎編） 5 経費会計（基礎編） 6 製造間接費会計（基礎編） 7 製造間接費差異の原因別分析（基礎編） 8 単純個別原価計算（基礎編） 9 工企業の財務諸表（基礎編） 10 確認テスト（第1回） 11 部門別計算（1）（基礎編） 12 部門別計算（2）（基礎編） 13 総合原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編） 14 単純総合原価計算（基礎編） 15 工程別総合原価計算（基礎編） 16 組別総合原価計算（基礎編） 17 等級別総合原価計算（基礎編） 18 減損および仕損（基礎編） 19 標準原価計算（1）（基礎編） 20 標準原価計算（2）（基礎編） 21 標準原価計算（3）（基礎編） 22 CVP分析（1）（基礎編） 23 CVP分析（2）（基礎編） 24 直接原価計算（基礎編） 25 工業簿記総まとめ（1）（基礎編） 26 工業簿記総まとめ（2）（基礎編） 27 工業簿記総まとめ（3）（基礎編） 28 工業簿記総まとめ（4）（基礎編） 29 工業簿記総まとめ（5）（基礎編） 30 確認テスト（第2回）	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B-1	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ（1）（基礎編） 2 商業簿記総まとめ（2）（基礎編） 3 商業簿記総まとめ（3）（基礎編） 4 商業簿記総まとめ（4）（基礎編） 5 商業簿記総まとめ（5）（基礎編） 6 商業簿記総まとめ（6）（基礎編） 7 商業簿記総まとめ（7）（基礎編） 8 商業簿記総まとめ（8）（基礎編） 9 商業簿記総まとめ（9）（基礎編） 10 商業簿記総まとめ（10）（基礎編） 11 商業簿記総まとめ（11）（基礎編） 12 商業簿記総まとめ（12）（基礎編） 13 工業簿記・原価計算総まとめ（1）（基礎編） 14 工業簿記・原価計算総まとめ（2）（基礎編） 15 工業簿記・原価計算総まとめ（3）（基礎編） 16 工業簿記・原価計算総まとめ（4）（基礎編） 17 工業簿記・原価計算総まとめ（5）（基礎編） 18 工業簿記・原価計算総まとめ（6）（基礎編） 19 総合問題対策（1）（商業簿記と工業簿記_基礎編） 20 総合問題対策（2）（商業簿記と工業簿記_基礎編） 21 総合問題対策（3）（商業簿記と工業簿記_基礎編） 22 総合問題対策（4）（商業簿記と工業簿記_基礎編） 23 総合問題対策（5）（商業簿記と工業簿記_基礎編） 24 総合問題対策（6）（商業簿記と工業簿記_基礎編） 25 総合問題対策（7）（商業簿記と工業簿記_基礎編） 26 総合問題対策（8）（商業簿記と工業簿記_基礎編） 27 総合問題対策（9）（商業簿記と工業簿記_基礎編） 28 総合問題演習（1）（テスト形式_基礎編） 29 総合問題演習（1）（テスト形式_基礎編） 30 総合問題演習（1）（テスト形式_基礎編）	31 総合問題演習（2）（テスト形式_基礎編） 32 総合問題演習（2）（テスト形式_基礎編） 33 総合問題演習（2）（テスト形式_基礎編） 34 総合問題演習（3）（テスト形式_基礎編） 35 総合問題演習（3）（テスト形式_基礎編） 36 総合問題演習（3）（テスト形式_基礎編） 37 総合問題演習（4）（テスト形式_基礎編） 38 総合問題演習（4）（テスト形式_基礎編） 39 総合問題演習（4）（テスト形式_基礎編） 40 総合問題演習（5）（テスト形式_基礎編） 41 総合問題演習（5）（テスト形式_基礎編） 42 総合問題演習（6）（テスト形式_基礎編） 43 総合問題演習（6）（テスト形式_基礎編） 44 総合問題演習（7）（テスト形式_基礎編） 45 総合問題演習（7）（テスト形式_基礎編） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	3級商業簿記基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B-2	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 簿記の目的 2 簿記一巡 3 株式会社の資本（1）（意義、資本、発行） 4 株式会社の資本（2）（剰余金の配当） 5 商品売買（1）（商品売買、3分法、売掛金・買掛金） 6 商品売買（2）（返品、分記法） 7 商品売買③（仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券） 8 決算（1）（決算） 9 決算（2）（決算整理） 10 決算（3）（繰越商品および仕入の決算整理） 11 決算（4）（決算整理後残高試算表） 12 決算（5）（精算表） 13 現金および預金（1）（現金、普通預金、当座預金） 14 現金および預金（2）（複数口座の管理、当座借越） 15 手形および電子記録債権・債務 16 受取手形および売掛金の決算整理 17 有形固定資産 18 現金過不足および現金、貯蔵品の決算整理 19 その他の債権および債務（1）（債権・債務、未収入金・未払金） 20 その他の債権および債務（2）（クレジット売掛金、手形貸付金・借入金） 21 その他の債権および債務（3）（仮払金・仮受金、差入保証金） 22 その他の勘定および訂正仕訳 23 その他の収益および費用 24 費用および収益の決算整理 25 税金 26 消費税および法人税等の決算整理 27 訂正仕訳 28 財務諸表の作成（1）（損益計算書①） 29 財務諸表の作成（2）（損益計算書②） 30 財務諸表の作成（3）（貸借対照表①）	31 財務諸表の作成（4）（貸借対照表②） 32 主要簿と補助簿 33 現金出納帳および当座預金出納帳 34 小口現金出納帳 35 仕入帳と売上帳 36 売掛金元帳と買掛金元帳 37 商品有高帳 38 手形記入帳 39 固定資産台帳 40 試算表の作成 41 伝票会計（1） 42 伝票会計（2） 43 確認テスト（第1回） 44 確認テスト（第2回） 45 確認テスト（第3回） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	3級簿記総合	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B-2	
授業方法	演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ（1）（基礎編） 2 商業簿記総まとめ（2）（基礎編） 3 商業簿記総まとめ（3）（基礎編） 4 商業簿記総まとめ（4）（基礎編） 5 商業簿記総まとめ（5）（基礎編） 6 商業簿記総まとめ（6）（基礎編） 7 商業簿記総まとめ（7）（基礎編） 8 商業簿記総まとめ（8）（基礎編） 9 商業簿記総まとめ（9）（基礎編） 10 商業簿記総まとめ（10）（基礎編） 11 商業簿記総まとめ（11）（基礎編） 12 商業簿記総まとめ（12）（基礎編） 13 商業簿記総まとめ（13）（基礎編） 14 商業簿記総まとめ（14）（基礎編） 15 商業簿記総まとめ（15）（基礎編） 16 商業簿記総まとめ（1）（応用編） 17 商業簿記総まとめ（2）（応用編） 18 商業簿記総まとめ（3）（応用編） 19 商業簿記総まとめ（4）（応用編） 20 商業簿記総まとめ（5）（応用編） 21 商業簿記総まとめ（6）（応用編） 22 商業簿記総まとめ（7）（応用編） 23 商業簿記総まとめ（8）（応用編） 24 商業簿記総まとめ（9）（応用編） 25 商業簿記総まとめ（10）（応用編） 26 商業簿記総まとめ（11）（応用編） 27 商業簿記総まとめ（12）（応用編） 28 商業簿記総まとめ（13）（応用編） 29 商業簿記総まとめ（14）（応用編） 30 商業簿記総まとめ（15）（応用編）	31 総合問題対策（1） 32 総合問題対策（2） 33 総合問題対策（3） 34 総合問題対策（4） 35 総合問題対策（5） 36 総合問題対策（6） 37 総合問題対策（7） 38 総合問題対策（8） 39 総合問題対策（9） 40 総合問題対策（10） 41 総合問題対策（11） 42 総合問題対策（12） 43 総合問題対策（13） 44 総合問題対策（14） 45 総合問題対策（15） 46 総合問題演習（1） 47 総合問題演習（2） 48 総合問題演習（3） 49 総合問題演習（4） 50 総合問題演習（5） 51 総合問題演習（6） 52 総合問題演習（7） 53 総合問題演習（8） 54 総合問題演習（9） 55 総合問題演習（10） 56 総合問題演習（11） 57 総合問題演習（12） 58 総合問題演習（13） 59 総合問題演習（14） 60 総合問題演習（15）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	IT基礎知識Ⅲ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	基本情報技術者 修了試験の対策を行う		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	基本情報技術者 修了試験の出題内容を理解する		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	ハードウェア（1）	31
	2	基礎理論	32
	3	ハードウェア（2）	33
	4	ソフトウェア	34
	5	アルゴリズム	35
	6	データベース	36
	7	ネットワーク	37
	8	問題演習	38
	9	セキュリティ	39
	10	システム構成要素	40
	11	マルチメディア	41
	12	システム開発	42
	13	マネジメント	43
	14	ストラテジ	44
	15	問題演習	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	IT基礎知識IV		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	基本情報技術者 修了試験の問題演習を行う		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義		
達成目標	基本情報技術者 修了試験で合格点を取得できるようになる		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	項目別問題演習（1）	31
	2	項目別問題演習（2）	32
	3	項目別問題演習（3）	33
	4	項目別問題演習（4）	34
	5	項目別問題演習（5）	35
	6	項目別問題演習（6）	36
	7	項目別問題演習（7）	37
	8	項目別問題演習（8）	38
	9	項目別問題演習（9）	39
	10	項目別問題演習（10）	40
	11	項目別問題演習（11）	41
	12	項目別問題演習（12）	42
	13	総合問題演習（1）	43
	14	総合問題演習（2）	44
	15	総合問題演習（3）	45
	16	総合問題演習（4）	46
	17	総合問題演習（5）	47
	18	総合問題演習（6）	48
	19	総合問題演習（7）	49
	20	総合問題演習（8）	50
	21	総合問題演習（9）	51
	22	総合問題演習（10）	52
	23	総合問題演習（11）	53
	24	総合問題演習（12）	54
	25	直前対策問題演習（1）	55
	26	直前対策問題演習（2）	56
	27	直前対策問題演習（3）	57
	28	直前対策問題演習（4）	58
	29	直前対策問題演習（5）	59
	30	模擬試験	60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識 V	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	基本情報技術者試験の午後試験対策を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	基本情報技術者試験の午後試験の出題内容を理解する	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1 データ構造（1） 2 データ構造（2） 3 データ構造（3） 4 データ構造問題演習（1） 5 データ構造問題演習（2） 6 データ構造問題演習（3） 7 アルゴリズム（1） 8 アルゴリズム（2） 9 アルゴリズム（3） 10 アルゴリズム問題演習（1） 11 アルゴリズム問題演習（2） 12 アルゴリズム問題演習（3） 13 CASL II の概要（1） 14 CASL II の概要（2） 15 CASL II の概要（3） 16 CASL II の概要（4） 17 CASL II の概要（5） 18 CASL II の概要問題演習（1） 19 CASL II の概要問題演習（2） 20 CASL II の概要問題演習（3） 21 CASL II の概要問題演習（4） 22 CASL II の概要問題演習（5） 23 CASL II アルゴリズム（1） 24 CASL II アルゴリズム（2） 25 CASL II アルゴリズム（3） 26 CASL II アルゴリズム（4） 27 CASL II アルゴリズム（5） 28 CASL II アルゴリズム問題演習（1） 29 CASL II アルゴリズム問題演習（2） 30 CASL II アルゴリズム問題演習（3）	31 CASL II アルゴリズム問題演習（1） 32 CASL II アルゴリズム問題演習（2） 33 ハードウェア（1） 34 ハードウェア（2） 35 ハードウェア問題演習（1） 36 ハードウェア問題演習（2） 37 ソフトウェア（1） 38 ソフトウェア（2） 39 ソフトウェア問題演習（1） 40 ソフトウェア問題演習（2） 41 ネットワーク（1） 42 ネットワーク（2） 43 ネットワーク問題演習（1） 44 ネットワーク問題演習（2） 45 データベース（1） 46 データベース（2） 47 データベース（3） 48 データベース問題演習（1） 49 データベース問題演習（2） 50 データベース問題演習（3） 51 情報セキュリティ（1） 52 情報セキュリティ（2） 53 情報セキュリティ（3） 54 情報セキュリティ問題演習（1） 55 情報セキュリティ問題演習（2） 56 情報セキュリティ問題演習（3） 57 ソフトウェア設計（1） 58 ソフトウェア設計（2） 59 ソフトウェア設計問題演習（1） 60 ソフトウェア設計問題演習（2）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識VI	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	基本情報技術者試験の午後問題演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義	
達成目標	基本情報技術者試験で合格点を取得できるようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1 項目別答練（1） 2 項目別答練（1） 3 項目別答練（2） 4 項目別答練（2） 5 項目別答練（3） 6 項目別答練（3） 7 項目別答練（4） 8 項目別答練（4） 9 項目別答練（5） 10 項目別答練（5） 11 項目別答練（6） 12 項目別答練（6） 13 項目別答練（7） 14 項目別答練（7） 15 項目別答練（8） 16 項目別答練（8） 17 項目別答練（9） 18 項目別答練（9） 19 項目別答練（10） 20 項目別答練（10） 21 項目別答練（11） 22 項目別答練（11） 23 日ビ検定対策（1） 24 日ビ検定対策（2） 25 日ビ検定対策（3） 26 日ビ検定対策（4） 27 日ビ検定対策（5） 28 日ビ検定対策（6） 29 日ビ検定対策（7） 30 日ビ検定対策（8）	31 総合答練（1） 32 総合答練（1） 33 総合答練（1） 34 総合答練（2） 35 総合答練（2） 36 総合答練（2） 37 総合答練（3） 38 総合答練（3） 39 総合答練（3） 40 総合答練（4） 41 総合答練（4） 42 総合答練（4） 43 総合答練（5） 44 総合答練（5） 45 総合答練（5） 46 総合答練（6） 47 総合答練（6） 48 総合答練（6） 49 直前答練（1） 50 直前答練（1） 51 直前答練（1） 52 直前答練（2） 53 直前答練（2） 54 直前答練（2） 55 公開模試（1） 56 公開模試（2） 57 公開模試（3） 58 プレ模試（1） 59 プレ模試（2） 60 プレ模試（3）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用情報基礎 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義・演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	応用情報技術者試験の午前試験と午後試験の対策を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	応用情報技術者の出題内容を理解する	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1 午前対策応用講義 (1) 2 午前対策応用講義 (2) 3 午前対策応用講義 (3) 4 午前対策応用講義 (4) 5 午前対策応用講義 (5) 6 午前対策応用講義 (6) 7 午前過去問題演習 (1) 8 午前過去問題演習 (1) 9 午前過去問題演習 (1) 10 午前過去問題演習 (2) 11 午前過去問題演習 (2) 12 午前過去問題演習 (2) 13 午前過去問題演習 (3) 14 午前過去問題演習 (3) 15 午前過去問題演習 (3) 16 午前過去問題演習 (4) 17 午前過去問題演習 (4) 18 午前過去問題演習 (4) 19 午前過去問題演習 (5) 20 午前過去問題演習 (5) 21 午前過去問題演習 (5) 22 午前過去問題演習 (6) 23 午前過去問題演習 (6) 24 午前過去問題演習 (6) 25 午前過去問題演習 (7) 26 午前過去問題演習 (7) 27 午前過去問題演習 (7) 28 アルゴリズム (1) 29 アルゴリズム (2) 30 アルゴリズム (3)	31 アルゴリズム (4) 32 アルゴリズム (5) 33 アルゴリズム (6) 34 システムアーキテクチャ (1) 35 システムアーキテクチャ (2) 36 システムアーキテクチャ (3) 37 システムアーキテクチャ (4) 38 ネットワーク (1) 39 ネットワーク (2) 40 ネットワーク (3) 41 ネットワーク (4) 42 ネットワーク (5) 43 ネットワーク (6) 44 データベース (1) 45 データベース (2) 46 データベース (3) 47 データベース (4) 48 データベース (5) 49 データベース (6) 50 情報セキュリティ (1) 51 情報セキュリティ (2) 52 情報セキュリティ (3) 53 情報セキュリティ (4) 54 情報セキュリティ (5) 55 情報セキュリティ (6) 56 情報システム開発 (1) 57 情報システム開発 (2) 58 情報システム開発 (3) 59 情報システム開発 (4) 60 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用情報基礎Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	応用情報技術者試験の問題演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義	
達成目標	応用情報技術者試験で合格点を取得できるようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1 午後項目別答練（1） 2 午後項目別答練（1） 3 午後項目別答練（2） 4 午後項目別答練（2） 5 午後項目別答練（3） 6 午後項目別答練（3） 7 午後項目別答練（4） 8 午後項目別答練（4） 9 午後項目別答練（5） 10 午後項目別答練（5） 11 午後項目別答練（6） 12 午後項目別答練（6） 13 午後項目別答練（7） 14 午後項目別答練（7） 15 午後項目別答練（8） 16 午後項目別答練（8） 17 午後項目別答練（9） 18 午後項目別答練（9） 19 午後項目別答練（10） 20 午後項目別答練（10） 21 午後項目別答練（11） 22 午後項目別答練（11） 23 午後項目別答練（12） 24 午後項目別答練（12） 25 午後項目別答練（13） 26 午後項目別答練（13） 27 午後項目別答練（14） 28 午後項目別答練（14） 29 日ビ検定対策（1） 30 日ビ検定対策（2）	31 日ビ検定対策（3） 32 日ビ検定対策（4） 33 日ビ検定対策（5） 34 総合答練（1） 35 総合答練（1） 36 総合答練（1） 37 総合答練（2） 38 総合答練（2） 39 総合答練（2） 40 総合答練（3） 41 総合答練（3） 42 総合答練（3） 43 総合答練（4） 44 総合答練（4） 45 総合答練（4） 46 総合答練（5） 47 総合答練（5） 48 総合答練（5） 49 総合答練（6） 50 総合答練（6） 51 総合答練（6） 52 総合答練（7） 53 総合答練（7） 54 総合答練（7） 55 総合答練（8） 56 総合答練（8） 57 総合答練（8） 58 公開模試 59 公開模試 60 公開模試
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	C言語	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義・実習	
授業時間	150時間	
授業コマ数	75コマ	
授業概要	Cの基本文法とプログラムの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	基本的なプログラムをCで実装できる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1 プログラムの構成 2 入出力（1） 3 入出力（2） 4 入出力（3） 5 操作実習（1） 6 操作実習（2） 7 演算子（1） 8 演算子（2） 9 分岐（1） 10 分岐（2） 11 分岐（3） 12 分岐（4） 13 操作実習（3） 14 操作実習（4） 15 繰返し（1） 16 繰返し（2） 17 繰返し（3） 18 繰返し（4） 19 操作実習（5） 20 操作実習（6） 21 まとめ 22 効果測定 C（1） 23 配列（1） 24 配列（2） 25 配列（3） 26 配列（4） 27 操作実習 28 操作実習 29 文字列（1） 30 文字列（2）	31 文字列（3） 32 文字列（4） 33 操作実習（7） 34 操作実習（8） 35 構造体（1） 36 構造体（2） 37 構造体（3） 38 構造体（4） 39 操作実習（9） 40 操作実習（10） 41 まとめ 42 効果測定 C（2） 43 ポインタ（1） 44 ポインタ（2） 45 ポインタ（3） 46 操作実習（11） 47 操作実習（12） 48 ファイル（1） 49 ファイル（2） 50 ファイル（3） 51 操作実習（13） 52 操作実習（14） 53 関数（1） 54 関数（2） 55 関数（3） 56 関数（4） 57 操作実習（15） 58 操作実習（16） 59 関数（5） 60 関数（6）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	C言語		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択C		
授業方法	講義・実習		
授業時間	150時間		
授業コマ数	75コマ		
授業概要	Cの基本文法とプログラムの実装		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	基本的なプログラムをCで実装できる		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	61	関数（7）	91
	62	関数（8）	92
	63	操作実習（17）	93
	64	操作実習（18）	94
	65	まとめ	95
	66	効果測定 C（3）	96
	67	総合演習（1）	97
	68	総合演習（2）	98
	69	総合演習（3）	99
	70	総合演習（4）	100
	71	総合演習（5）	101
	72	総合演習（6）	102
	73	総合演習（7）	103
	74	総合演習（8）	104
	75	効果測定 C（4）	105
	76		106
	77		107
	78		108
	79		109
	80		110
81		111	
82		112	
83		113	
84		114	
85		115	
86		116	
87		117	
88		118	
89		119	
90		120	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	JavaScript	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択D	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	JavaScript	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる	
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門[改訂2版]（技術評論社）	
特記		
授業計画	1 JavaScriptの基礎知識 2 はじめてのプログラム（1） 3 はじめてのプログラム（2） 4 変数と演算について（1） 5 変数と演算について（2） 6 条件分岐（1） 7 条件分岐（2） 8 繰り返し（1） 9 繰り返し（2） 10 ユーザ定義関数の作成 11 オブジェクトの操作（1） 12 オブジェクトの操作（2） 13 オブジェクトの操作（3） 14 配列の基礎 15 配列の操作 16 効果測定 JavaScript(1) 17 Webブラウザのオブジェクト（1） 18 Webブラウザのオブジェクト（2） 19 Webブラウザのオブジェクト（3） 20 デジタル時計の作成 21 イメージを操作する 22 ユーザ定義オブジェクト 23 DOMの操作（1） 24 DOMの操作（2） 25 DOMの操作（3） 26 Ajax（1） 27 Ajax（2） 28 Ajax（3） 29 Ajax（4） 30 効果測定 JavaScript(2)	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Python	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択D	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Python3の基本文法とプログラムの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	CUIベースのプログラムをPythonで実装できる	
教科書	新・明解 Python入門（SBクリエイティブ）	
特記		
授業計画	1 Pythonをはじめる 2 画面への表示とキーボードからの入力 3 制御・条件分岐（1） 4 制御・条件分岐（2） 5 制御・条件分岐（3） 6 プログラムの構成要素 7 制御・繰り返し（1） 8 制御・繰り返し（2） 9 制御・繰り返し（3） 10 オブジェクトと型（1） 11 オブジェクトと型（2） 12 文字列の基礎 13 文字列の操作 14 文字列の書式化 15 効果測定 Python（1） 16 リスト（1） 17 リスト（2） 18 リスト（3） 19 リスト（4） 20 タプル 21 辞書 22 集合 23 関数の基礎（1） 24 関数の基礎（2） 25 文書化文字列とアノテーション 26 名前空間とスコープ 27 高階関数とラムダ式 28 モジュール 29 パッケージ 30 効果測定 Python（2）	31 クラス（1） 32 クラス（2） 33 クラス変数とクラスメソッド 34 継承（1） 35 継承（2） 36 例外処理（1） 37 例外処理（2） 38 ファイル処理の基礎（1） 39 ファイル処理の基礎（2） 40 バイナリファイル 41 総合演習（1） 42 総合演習（2） 43 総合演習（3） 44 総合演習（4） 45 効果測定 Python（3） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	オブジェクト指向分析設計		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択D		
授業方法	実習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計の実習		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習		
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる		
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ（大学教育出版）		
特記			
授業計画	1	各種ツールの準備と・実習	31
	2	システム分析の本質	32
	3	図解技法の応用（例題と演習）	33
	4	演習（1）	34
	5	演習（2）	35
	6	システム分析・設計の手順	36
	7	UMLの基本（1）	37
	8	UMLの基本（2）	38
	9	システム分析の事例演習（1）	39
	10	システム分析の事例演習（1）	40
	11	システム分析の事例演習（1）	41
	12	システム分析の事例演習（2）	42
	13	システム分析の事例演習（2）	43
	14	システム分析の事例演習（2）	44
	15	効果測定 オブジェクト指向分析設計（1）	45
	16	システム分析の事例演習（3）	46
	17	システム分析の事例演習（3）	47
	18	システム分析の事例演習（3）	48
	19	UMLを用いたシステムの設計の基礎	49
	20	システム設計の事例演習（1）	50
	21	システム設計の事例演習（2）	51
	22	システム設計の事例演習（3）	52
	23	総合演習（1）	53
	24	総合演習（2）	54
	25	総合演習（3）	55
	26	総合演習（4）	56
	27	総合演習（5）	57
	28	総合演習（6）	58
	29	総合演習（7）	59
	30	効果測定 オブジェクト指向分析設計（2）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	アジャイルソフトウェア開発	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択D	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	アジャイルの概要とアジャイルを適用したユースケース駆動設計	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	アジャイルな開発体制に適応できる	
教科書	アジャイル開発への道案内（近代科学社）	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 アジャイル開発の現状と課題 2 アジャイル開発の概要 3 アジャイル開発の特徴 4 アジャイル開発プロセス 5 アジャイル開発の効果とリスク 6 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発 7 アジャイル開発の事例 8 まとめと演習 9 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（1） 10 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（2） 11 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（3） 12 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（4） 13 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（5） 14 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（6） 15 効果測定 アジャイルソフトウェア開発 	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Java	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択D	
授業方法	実習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミング	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる	
教科書	新・明解Java入門（SBクリエイティブ）、Java8問題集（SCC Books）	
特記		
授業計画	1 はじめてのJava 2 変数を使う 3 制御構文・分岐（1） if文（1） 4 制御構文・分岐（2） if文（2） 5 制御構文・分岐（3） switch文 キーワード・識別子・演算子 6 制御構文・繰り返し（1） do-while文 7 制御構文・繰り返し（2） while文 8 制御構文・繰り返し（3） for文 9 制御構文・繰り返し（4） 10 基本型と演算 11 配列（1） 12 配列（2） 13 配列（3） 14 演習（1） 15 効果測定 Java（1） 16 メソッド（1） 17 メソッド（2） 18 メソッド（3） 19 クラスの基本（1） 20 クラスの基本（2） 21 日付クラスの作成（1） 22 日付クラスの作成（2） 23 クラス変数とクラスメソッド（1） 24 クラス変数とクラスメソッド（2） 25 クラス変数とクラスメソッド（3） 26 パッケージ 27 クラスの派生と多相姓（1） 28 クラスの派生と多相姓（1） 29 クラスの派生と多相姓（1） 30 効果測定 Java（2）	31 抽象クラス（1） 32 抽象クラス（2） 33 インタフェース（1） 34 インタフェース（1） 35 演習（2） 36 文字と文字列（1） 37 文字と文字列（2） 38 例外処理（1） 39 例外処理（2） 40 効果測定 Java（3） 41 総合演習 ようこそJavaの世界へ 42 総合演習 はじめてのJavaプログラム 43 総合演習 基本的なJavaプログラムの構造 44 総合演習 コンピュータで扱うデータ表現 45 総合演習 変数/定数と型 46 総合演習 演算と演算子 47 総合演習 配列の宣言・生成（1） 48 総合演習 配列の宣言・生成（2） 49 総合演習 制御文（1） 50 総合演習 制御文（2） 51 総合演習 クラスとオブジェクト（1） 52 総合演習 クラスとオブジェクト（2） 53 総合演習 クラスの関係を深める（1） 54 総合演習 クラスの関係を深める（2） 55 総合演習 クラスの継承（1） 56 総合演習 クラスの継承（2） 57 総合演習 例外処理（1） 58 総合演習 例外処理（2） 59 まとめ 60 効果測定 Java（4）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	PHP	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択E	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる	
教科書	詳細！PHP7+MySQL入門ノート（ソーテック社）	
特記		
授業計画	1 PHPの概要と準備 2 変数 3 演算子 4 制御構造・分岐文 5 制御構造・繰り返し文 6 関数（1） 7 関数（2） 8 文字列操作（1） 9 文字列操作（2） 10 文字列操作（3） 11 配列（1） 12 配列（2） 13 配列（3） 14 効果測定 PHP（1） 15 オブジェクト指向プログラミング（1） 16 オブジェクト指向プログラミング（2） 17 オブジェクト指向プログラミング（3） 18 オブジェクト指向プログラミング（4） 19 フォーム処理の基本（1） 20 フォーム処理の基本（2） 21 フォーム処理の基本（3） 22 各種フォームの使用（1） 23 各種フォームの使用（2） 24 各種フォームの使用（3） 25 各種フォームの使用（4） 26 セッションとクッキー（1） 27 セッションとクッキー（2） 28 セッションとクッキー（3） 29 効果測定 PHP（2） 30 ファイルの読み込みと書き出し（1）	31 ファイルの読み込みと書き出し（2） 32 ファイルの読み込みと書き出し（3） 33 phpMyAdminを使う（1） 34 phpMyAdminを使う（2） 35 MySQLを操作する（1） 36 MySQLを操作する（2） 37 MySQLを操作する（3） 38 MySQLを操作する（4） 39 総合演習（1） 40 総合演習（2） 41 総合演習（3） 42 総合演習（4） 43 総合演習（5） 44 総合演習（6） 45 効果測定 PHP（3）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	フロントエンドフレームワーク	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択E	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる	
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門（翔泳社）	
特記		
授業計画	1 Vue.jsの概要 2 Vue.jsのインストール方法と実行 3 データを表示する 4 属性を指定する 5 演習（1） 6 ユーザの入力をつなぐ（1） 7 ユーザの入力をつなぐ（2） 8 ユーザの入力をつなぐ（3） 9 ユーザの入力をつなぐ（4） 10 演習（2） 11 ユーザの操作をつなぐ（1） 12 ユーザの操作をつなぐ（2） 13 ユーザの操作をつなぐ（3） 14 演習（3） 15 効果測定 フロントエンドフレームワーク（1） 16 条件と繰り返しを使う（1） 17 条件と繰り返しを使う（2） 18 条件と繰り返しを使う（3） 19 条件と繰り返しを使う（4） 20 演習（4） 21 Google Chartsと連動させる 22 データの変化を監視する（1） 23 データの変化を監視する（2） 24 演習（5） 25 データの変化を監視する（3） 26 データの変化を監視する（4） 27 演習（6） 28 Markdownエディタを作る 29 総合演習 30 効果測定 フロントエンドフレームワーク（2）	31 アニメーションを表示する（1） 32 アニメーションを表示する（2） 33 演習（7） 34 Vue.jsでToDoリストを作る（1） 35 Vue.jsでToDoリストを作る（2） 36 演習（8） 37 部品にまとめる：コンポーネント（1） 38 部品にまとめる：コンポーネント（2） 39 部品にまとめる：コンポーネント（3） 40 部品にまとめる：コンポーネント（4） 41 演習（9） 42 JSONデータを表示させる（1） 43 JSONデータを表示させる（2） 44 JSONデータを表示させる（3） 45 効果測定 フロントエンドフレームワーク（3） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	サーバサイドフレームワーク	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択E	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	PHPサーバサイドフレームワークLaravelを使用したサーバサイドアプリケーションの	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	Laravelを使用してサーバサイドWebアプリケーションの作成ができる	
教科書	PHPフレームワーク Laravel入門（秀和システム）	
特記		
授業計画	1 Laravelを準備する 2 ルーティングとコントローラ（1） 3 ルーティングとコントローラ（2） 4 ルーティングとコントローラ（3） 5 演習（1） 6 ビューとテンプレート（1） 7 ビューとテンプレート（2） 8 ビューとテンプレート（3） 9 ビューとテンプレート（4） 10 演習（2） 11 リクエスト・レスポンスを補完する（1） 12 リクエスト・レスポンスを補完する（2） 13 リクエスト・レスポンスを補完する（3） 14 リクエスト・レスポンスを補完する（4） 15 リクエスト・レスポンスを補完する（5） 16 効果測定 サーバサイドフレームワーク（1） 17 データベースの利用（1） 18 データベースの利用（2） 19 データベースの利用（3） 20 データベースの利用（4） 21 演習（3） 22 Eloquent ORM（1） 23 Eloquent ORM（2） 24 Eloquent ORM（3） 25 Eloquent ORM（4） 26 Eloquent ORM（5） 27 演習（4） 28 Restfulサービス（1） 29 Restfulサービス（2） 30 Restfulサービス（3）	31 Restfulサービス（4） 32 Restfulサービス（5） 33 効果測定 サーバサイドフレームワーク（2） 34 サーバサイドアプリ構築演習（1） 35 サーバサイドアプリ構築演習（2） 36 サーバサイドアプリ構築演習（3） 37 サーバサイドアプリ構築演習（4） 38 サーバサイドアプリ構築演習（5） 39 サーバサイドアプリ構築演習（6） 40 サーバサイドアプリ構築演習（7） 41 サーバサイドアプリ構築演習（8） 42 サーバサイドアプリ構築演習（9） 43 サーバサイドアプリ構築演習（10） 44 サーバサイドアプリ構築演習（11） 45 効果測定 サーバサイドフレームワーク（3） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	データサイエンス基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択F	
授業方法	実習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	統計学の基礎と実装方法の取得	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	各種統計処理の実装ができる	
教科書	あたらしいPythonで学ぶ統計学の教科書（翔泳社）	
特記		
授業計画	1 統計学、標本取得プロセスと抽象化 2 記述統計の基礎 3 母集団分布の推定 4 確率質量関数と確率密度関数 5 統計量の計算 6 確率論の基本（1） 7 確率論の基本（2） 8 確率変数と確率分布 9 環境構築、Jupyter Notebookの基本 10 Pythonによるプログラミングの基本 11 numpy・pandasの基本（1） 12 numpy・pandasの基本（2） 13 numpy・pandasの基本（3） 14 Pythonによる記述統計：1変量データ編（1） 15 Pythonによる記述統計：1変量データ編（2） 16 Pythonによる記述統計：多変量データ編（1） 17 Pythonによる記述統計：多変量データ編（2） 18 matplotlib・seabornによるデータの可視化（1） 19 matplotlib・seabornによるデータの可視化（2） 20 母集団からの標本抽出シミュレーション 21 標本の統計量の性質（1） 22 標本の統計量の性質（2） 23 正規分布とその応用 24 推定 25 統計的仮説検定 26 平均値の差の検定 27 分割表の検定 28 検定の結果の解釈 29 総合演習（1） 30 効果測定 データサイエンス基礎（1）	31 統計モデル 32 統計モデルの作り方 33 データの表現とモデルの名称 34 パラメタ推定：尤度の最大化 35 パラメタ推定：損失の最小化 36 予測精度の評価と変数選択 37 連続型の説明変数を1つ持つモデル（単回帰）（1） 38 連続型の説明変数を1つ持つモデル（単回帰）（2） 39 分散分析（1） 40 分散分析（2） 41 複数の説明変数を持つモデル（1） 42 複数の説明変数を持つモデル（2） 43 さまざまな確率分布（1） 44 さまざまな確率分布（2） 45 一般化線形モデルの基本（1） 46 一般化線形モデルの基本（2） 47 ロジスティック回帰（1） 48 ロジスティック回帰（2） 49 一般化線形モデルの評価（1） 50 一般化線形モデルの評価（2） 51 ポアソン回帰（1） 52 ポアソン回帰（2） 53 機械学習の基本（1） 54 機械学習の基本（2） 55 PythonによるRidge回帰・Lasso回帰（1） 56 PythonによるRidge回帰・Lasso回帰（2） 57 線形モデルとニューラルネットワーク（1） 58 線形モデルとニューラルネットワーク（2） 59 総合演習（2） 60 効果測定 データサイエンス基礎（2）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	AI基礎プログラミング	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択F	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Pythonを使用した第1世代・第2世代・第3世代AIプログラミング	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	Python・ライブラリ・フレームワークを使用したAIプログラムの実装ができる	
教科書	Python 人工知能プログラミング（三恵社）	
特記		
授業計画	1 関数型スタイル（1） 2 関数型スタイル（2） 3 再帰的プログラミング（1） 4 再帰的プログラミング（2） 5 演習（1） 6 フラクタルカーブ（1） 7 フラクタルカーブ（2） 8 ハノイの塔（1） 9 ハノイの塔（2） 10 演習（2） 11 解の探索とバックトラッキング：Nクイーン問題 12 解の探索とバックトラッキング：騎士の巡回問題 13 演習（3） 14 論理パズル：宣教師とモンスター 15 論理パズル：農民と狼とヤギとキャベツ 16 演習（4） 17 ゲーム木理論：ゼロサムゲーム、TicTacToe 18 ゲーム木理論：ミニマックス戦略 19 ゲーム木理論：アルファベータカット 20 演習（5） 21 効果測定 AI基礎プログラミング（1） 22 推論と知識ベース：前向き推論 23 推論と知識ベース：後ろ向き推論 24 演習（6） 25 人工生命とNPC：ランダムな動き 26 人工生命とNPC：Boidアルゴリズム 27 人工生命とNPC：ノンプレイヤーキャラクターとゲームスレッド 28 演習（7） 29 自立行動と追跡：パンくず拾い 30 自立行動と追跡：A*アルゴリズム	31 自立行動と追跡：有限状態マシン 32 演習（8） 33 Kerasによる機械学習：ニューラルネットワーク 34 Kerasによる機械学習：多層パーセプトロン 35 演習（9） 36 ディープラーニング：深層学習の準備 37 ディープラーニング：多層化による手書き数字認識 38 ディープラーニング：畳み込みニューラルネットワーク 39 ディープラーニング：一般物体認識 40 ディープラーニング：スタイル変換 41 ディープラーニング：GPU並列演算 42 演習（10） 43 総合演習（1） 44 総合演習（2） 45 効果測定 AI基礎プログラミング（2） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	AIフレームワーク I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択F		
授業方法	実習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	Python 機械学習フレームワークscikit-learnを使用した機械学習プログラムの作成		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	各種ライブラリを用いた前処理ができる。scikit-learnを使用した深層学習システムの作成ができる		
教科書	Pythonによる初めての機械学習プログラミング（技術評論社）		
特記			
授業計画	1	Pythonによる機械学習プログラミングの準備（1）	31
	2	Pythonによる機械学習プログラミングの準備（2）	32
	3	前処理とは	33
	4	irisデータの操作	34
	5	データフレームへの変換とデータフレームからの変換	35
	6	データフレームを用いた計算や集計	36
	7	その他のデータ形式の操作	37
	8	データベースからのデータ取得	38
	9	Pandasによるデータ分析の例（1）	39
	10	Pandasによるデータ分析の例（2）	40
	11	演習（1）	41
	12	効果測定 AIフレームワーク（1）	42
	13	機械学習に取り組むための準備	43
	14	scikit-learnによる機械学習の基本（1）	44
	15	scikit-learnによる機械学習の基本（2）	45
	16	scikit-learnによる機械学習の基本（3）	46
	17	scikit-learnによる機械学習の基本（4）	47
	18	演習（2）	48
	19	Flaskとscikit-learnでAPIを構築する（1）	49
	20	Flaskとscikit-learnでAPIを構築する（2）	50
	21	自然言語処理とは	51
	22	Gensimで単語の意味ベクトルを学習する（1）	52
	23	Gensimで単語の意味ベクトルを学習する（2）	53
	24	類語を検索する	54
	25	アナロジーの推論をする	55
	26	PyTorchで日本語ニュース記事を分類する（1）	56
	27	PyTorchで日本語ニュース記事を分類する（2）	57
	28	PyTorchで日本語ニュース記事を分類する（3）	58
	29	演習（3）	59
	30	効果測定 AIフレームワーク（2）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザインⅢ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	職種研究や企業研究などの講義ならびに適正試験対策等		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	適した業界、職種を理解し就職活動の方向性を決定する		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	求人紹介（1）	31
	2	面接トレーニング（1）	32
	3	業界研究（1）	33
	4	業界研究（2）	34
	5	業界研究（3）	35
	6	求人紹介（2）	36
	7	面接トレーニング（2）	37
	8	職種研究（1）	38
	9	職種研究（2）	39
	10	職種研究（3）	40
	11	求人紹介（3）	41
	12	面接トレーニング（3）	42
	13	企業研究（1）	43
	14	企業研究（2）	44
	15	企業研究（3）	45
	16	求人紹介（4）	46
	17	面接トレーニング（4）	47
	18	適性試験対策（1）	48
	19	適性試験対策（2）	49
	20	適性試験対策（3）	50
	21	求人紹介（5）	51
	22	面接トレーニング（5）	52
	23	エントリーシート対策（1）	53
	24	エントリーシート対策（2）	54
	25	エントリーシート対策（3）	55
	26	求人紹介（6）	56
	27	面接トレーニング（6）	57
	28	グループディスカッション対策（1）	58
	29	グループディスカッション対策（2）	59
	30	効果測定 面接	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザインⅣ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ロールプレイングを用いた実践授業		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	業界・職種に応じた校内試験に合格できるようになる		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	求人紹介（1）	31
	2	面接トレーニング（1）	32
	3	面接トレーニング（2）	33
	4	適性試験対策（1）	34
	5	適性試験対策（2）	35
	6	求人紹介（2）	36
	7	面接トレーニング（3）	37
	8	面接トレーニング（4）	38
	9	エントリーシート対策（1）	39
	10	エントリーシート対策（2）	40
	11	求人紹介（3）	41
	12	面接トレーニング（5）	42
	13	面接トレーニング（6）	43
	14	グループディスカッション対策（1）	44
	15	グループディスカッション対策（2）	45
	16	求人紹介（4）	46
	17	面接トレーニング（7）	47
	18	面接トレーニング（8）	48
	19	適性試験対策3	49
	20	適性試験対策4	50
	21	求人紹介（5）	51
	22	面接トレーニング（9）	52
	23	面接トレーニング（10）	53
	24	エントリーシート対策（3）	54
	25	エントリーシート対策（4）	55
	26	求人紹介（6）	56
	27	面接トレーニング（11）	57
	28	面接トレーニング（12）	58
	29	企業研究レポート作成	59
	30	効果測定 企業研究レポート	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ビジネスマナー I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	新入社員に求められる電話応対スキルなどを学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	ビジネスマナーを身に付け、また円滑な電話応対ができるようになる		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	意識付け、ガイダンス	31
	2	学校と職場の違い	32
	3	職場のマナー	33
	4	仕事の進め方	34
	5	「ほう・れん・そう」とは	35
	6	挨拶の種類	36
	7	笑顔・お辞儀	37
	8	正しい敬語の使い方	38
	9	応対の基本	39
	10	電話応対のマナー	40
	11	電話の受け方	41
	12	電話のかけ方	42
	13	状況別の電話対応	43
	14	効果測定対策	44
	15	効果測定 電話応対実技	45
			46
		47	
		48	
		49	
		50	
		51	
		52	
		53	
		54	
		55	
		56	
		57	
		58	
		59	
		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Java	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義・実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Javaのプログラムの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	Javaのプログラムを実装できるようになる	
教科書	新・明解Java入門（SBクリエイティブ）、Java8問題集（SCC Books）	
特記	ITエンジニアとして従事していた教員による授業	
授業計画	1 Javaの概要 2 Javaの言語仕様（1） 3 Javaの言語仕様（2） 4 Javaの言語仕様（3） 5 Javaの言語仕様（4） 6 Javaの言語仕様（5） 7 操作実習 8 操作実習 9 クラス（1） 10 クラス（2） 11 クラス（3） 12 クラス（4） 13 操作実習 14 操作実習 15 クラスと継承（1） 16 クラスと継承（2） 17 クラスと継承（3） 18 クラスと継承（4） 19 操作実習 20 操作実習 21 まとめ 22 効果測定 Java（1） 23 Javaのクラスライブラリ（1） 24 Javaのクラスライブラリ（2） 25 例外処理（1） 26 例外処理（2） 27 操作実習 28 操作実習 29 入出力処理（1） 30 入出力処理（2）	31 操作実習 32 操作実習 33 マルチスレッド（1） 34 マルチスレッド（2） 35 操作実習 36 操作実習 37 まとめ 38 効果測定 Java（3） 39 コレクション 40 ジェネリクス 41 データベース接続（1） 42 データベース接続（2） 43 操作実習 44 まとめ 45 効果測定 Java（4） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	PHP	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義・実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	PHP及びMySQLの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	PHPのプログラムを実装できるようになる	
教科書	詳細！PHP7+MySQL入門ノート（ソーテック社）	
特記	ITエンジニアとして従事していた教員による授業	
授業計画	1 インターネットの概要 2 HTMLの構成（1） 3 HTMLの構成（2） 4 HTMLの構成（3） 5 HTMLの構成（4） 6 スタイルシートの構成 7 操作実習 8 操作実習 9 Xamppの使用方法（1） 10 Xamppの使用方法（2） 11 PHPの文法（1） 12 PHPの文法（2） 13 制御構造（1） 14 制御構造（2） 15 配列（1） 16 配列（2） 17 配列のループ処理（1） 18 配列のループ処理（2） 19 操作実習 20 操作実習 21 フォームの作成（1） 22 フォームの作成（2） 23 リンクの作成 24 操作実習 25 操作実習 26 クッキー（1） 27 クッキー（2） 28 セッション（1） 29 セッション（2） 30 操作実習	31 操作実習 32 phpMyAdmin（1） 33 phpMyAdmin（2） 34 データベース接続（1） 35 データベース接続（2） 36 データベース接続（3） 37 データベース接続（4） 38 クラスとオブジェクト（1） 39 クラスとオブジェクト（2） 40 ショッピングサイト開発実習（1） 41 ショッピングサイト開発実習（2） 42 ショッピングサイト開発実習（3） 43 ショッピングサイト実習開発（4） 44 まとめ 45 効果測定 PHP 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	クラウドコンピューティング	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義・実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	AWSを利用したクラウドコンピューティングの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発環境の実装	
教科書	AWS Academy提供 テキスト	
特記		
授業計画	1 オンプレミス環境の構築 基礎講義 2 オンプレミス環境の構築 基礎実習（1） 3 オンプレミス環境の構築 基礎実習（2） 4 オンプレミス環境の構築 応用講義 5 オンプレミス環境の構築 応用実習（1） 6 オンプレミス環境の構築 応用実習（2） 7 オンプレミスとクラウドの比較 8 クラウドコンピューティング概要 9 クラウドエコノミクス 10 AWSインフラストラクチャと主要なサービス 11 コンピューティングサービス 12 Amazon EC2 コンピューティング実習 13 ストレージサービス:EBS 14 EBS ストレージ構築・活用実習 15 ストレージサービス:Amazon S3 16 Amazon S3 ストレージ構築・活用実習 17 ストレージサービス: EFS・Glacier概要 18 AWS VPC概要 19 AWS セキュリティグループ 20 VPC+Webサーバ構築実習 21 AWS Cloud Front概要 22 Amazon RDS 23 RDS環境構築実習 24 Amazon DynamoDB 25 DynamoDB環境構築実習 26 Redshift/Aurora 概要 27 高可用性DB 構築実習（1） 28 高可用性DB 構築実習（2） 29 Elastic Load Balancing (ELB) 30 Amazon CloudWatch	31 Auto Scaling 32 負荷分散とScalingの実装実習（1） 33 負荷分散とScalingの実装実習（2） 34 クラウドのセキュリティ 35 IAMロールとポリシー 36 ベストプラクティスとコンプライアンス 37 AWSセキュリティ実装実習（1） 38 AWSセキュリティ実装実習（2） 39 クラウドアーキテクチャの設計（1） 40 クラウドアーキテクチャの設計（2） 41 クラウドの請求とサポートサービス 42 総合実習（1） 43 総合実習（2） 44 総合実習（3） 45 効果測定 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	AI基礎プログラミング	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Pythonにより最低限のライブラリで実装するAIシステムの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	深層学習システムに必須な基本的技術の実装に対応できる	
教科書	PythonによるAIプログラミング入門（オライリー）	
特記		
授業計画	1 人工知能の概要 2 教師あり学習を用いた分類と回帰（1） 3 教師あり学習を用いた分類と回帰（2） 4 教師あり学習を用いた分類と回帰（3） 5 アンサンブル学習を用いた予測分析（1） 6 アンサンブル学習を用いた予測分析（2） 7 教師なし学習を用いたパターン検出（1） 8 教師なし学習を用いたパターン検出（2） 9 教師なし学習を用いたパターン検出（3） 10 推薦エンジンを作る（1） 11 推薦エンジンを作る（2） 12 論理プログラミング（1） 13 論理プログラミング（2） 14 ヒューリスティック探索（1） 15 ヒューリスティック探索（2） 16 ヒューリスティック探索（3） 17 遺伝的アルゴリズム（1） 18 遺伝的アルゴリズム（2） 19 遺伝的アルゴリズム（3） 20 人工知能を使ったゲーム（1） 21 人工知能を使ったゲーム（2） 22 人工知能を使ったゲーム（3） 23 第1回効果測定 24 自然言語処理（1） 25 自然言語処理（2） 26 自然言語処理（3） 27 連続データの確率的推論（1） 28 連続データの確率的推論（2） 29 連続データの確率的推論（3） 30 音声認識（1）	31 音声認識（2） 32 音声認識（3） 33 物体検出と追跡（1） 34 物体検出と追跡（2） 35 物体検出と追跡（3） 36 人工ニューラルネットワーク（1） 37 人工ニューラルネットワーク（2） 38 人工ニューラルネットワーク（3） 39 強化学習（1） 40 強化学習（2） 41 強化学習（3） 42 畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング（1） 43 畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング（2） 44 畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング（3） 45 第2回効果測定 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IoTシステム基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Pythonプログラミングの基礎をまなぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	コーディングできるようになる	
教科書	Pythonで動かして学ぶ！あたらしいIoTの教科書（翔泳社）	
特記		
授業計画	1 IoTの概要 2 IoTの仕組み 3 Raspberry Piのセットアップ 4 Raspberry Piの初期化 5 Raspberry Piにリモートアクセスする（1） 6 Raspberry Piにリモートアクセスする（2） 7 Raspberry Piを使ってLEDを点滅させる（1） 8 Raspberry Piを使ってLEDを点滅させる（2） 9 演習（1） 10 演習（2） 11 演習（3） 12 センサーによるデータの取得（1） 13 センサーによるデータの取得（2） 14 演習（4） 15 演習（5） 16 演習（6） 17 クラウドストレージにデータを保存する（1） 18 クラウドストレージにデータを保存する（2） 19 演習（7） 20 演習（8） 21 演習（9） 22 第1回効果測定 23 IoTとデータの可視化（1） 24 IoTとデータの可視化（2） 25 演習（10） 26 演習（11） 27 演習（12） 28 IoTとアクチュエーターの遠隔操作（1） 29 IoTとアクチュエーターの遠隔操作（2） 30 演習（13）	31 演習（14） 32 演習（15） 33 IoTとAI（1） 34 IoTとAI（2） 35 IoTとAI（3） 36 IoTとAI（4） 37 演習（16） 38 演習（17） 39 演習（18） 40 IoTとセキュリティ（1） 41 IoTとセキュリティ（2） 42 演習（19） 43 演習（20） 44 演習（21） 45 第2回効果測定 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ディープラーニング			
実務家教員授業				
学部・学科	情報工学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択 I			
授業方法	実習			
授業時間	90時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	Pythonによるディープラーニングの実装			
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習			
達成目標	ディープラーニングシステムの実装ができ、各種AIフレームワークを使用することができ			
教科書	なっとくディープラーニング（翔泳社）			
特記				
授業計画	1	ディープラーニングを学ぶのはなぜか・機械はどのように学習するか	31	可変長データのためのリカレント層（1）
	2	ニューラル予測（1）	32	可変長データのためのリカレント層（2）
	3	ニューラル予測（2）	33	可変長データのためのリカレント層（3）
	4	ニューラル予測（3）	34	可変長データのためのリカレント層（4）
	5	ニューラル学習（4）	35	ディープラーニングフレームワークを構築（1）
	6	ニューラル学習（5）	36	ディープラーニングフレームワークを構築（2）
	7	ニューラル学習（6）	37	ディープラーニングフレームワークを構築（3）
	8	ニューラル学習（7）	38	ディープラーニングフレームワークを構築（4）
	9	一度に複数の重みを学習する（1）	39	LSTM（1）
	10	一度に複数の重みを学習する（2）	40	LSTM（2）
	11	一度に複数の重みを学習する（3）	41	LSTM（3）
	12	初めてのディープニューラルネットワークの構築（1）	42	フェデレーションラーニング（1）
	13	初めてのディープニューラルネットワークの構築（2）	43	フェデレーションラーニング（2）
	14	初めてのディープニューラルネットワークの構築（3）	44	フェデレーションラーニング（3）
	15	初めてのディープニューラルネットワークの構築（4）	45	第2回効果測定
	16	ニューラルネットワークの描き方	46	
	17	シグナルを学習し、ノイズを取り除く（1）	47	
	18	シグナルを学習し、ノイズを取り除く（2）	48	
	19	シグナルを学習し、ノイズを取り除く（3）	49	
	20	確率と非線形性のモデル化（1）	50	
	21	確率と非線形性のモデル化（2）	51	
	22	確率と非線形性のモデル化（3）	52	
	23	第1回効果測定	53	
	24	畳み込みニューラルネットワーク（1）	54	
	25	畳み込みニューラルネットワーク（2）	55	
	26	畳み込みニューラルネットワーク（3）	56	
	27	言語を理解するニューラルネットワーク（1）	57	
	28	言語を理解するニューラルネットワーク（2）	58	
	29	言語を理解するニューラルネットワーク（3）	59	
	30	言語を理解するニューラルネットワーク（4）	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	AIフレームワーク II	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 I	
授業方法	実習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	Python 機械学習フレームワークscikit-learnを使用した機械学習プログラムの作成	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	Kerasによる線形多項分類器、多層CNNが実装できるようになる	
教科書	TensorFlowとKerasで動かしながら学ぶディープラーニングの仕組み（マイナビ）	
特記		
授業計画	1 機械学習の考え方 2 勾配降下法によるパラメーターの最適化 3 実行環境の準備 4 Low-level APIによる実装例 5 Kerasによる実装例 6 分類問題とニューラルネットワーク 7 ディープラーニングの特徴 8 演習（1） 9 演習（2） 10 演習（3） 11 確率を用いた誤差の評価 12 Kerasによるロジスティック回帰の実装 13 テストセットを用いた検証 14 線形多項分類器の仕組み 15 ソフトマックス関数による確率への変換 16 MNIST データセットの利用方法 17 画像データの分類アルゴリズム 18 Kerasによる線形多項分類器の実装 19 ミニバッチと確率的勾配降下法 20 演習（4） 21 演習（5） 22 演習（6） 23 単層ニューラルネットワークによる二項分類器 24 隠れ層が果たす役割 25 ノード数の違いによる効果 26 単層ニューラルネットワークを用いた多項分類器 27 TensorBoardによるトレーニングログの確認 28 多層ニューラルネットワークの効果 29 特徴変数に基づいた分類ロジック 30 補足：パラメーターが極小値に収束する例	31 演習（7） 32 演習（8） 33 演習（9） 34 第1回効果測定 35 畳み込みフィルターの例 36 Kerasによる畳み込みフィルターの適用 37 プーリング層による画像の縮小 38 特徴変数による画像の分類 39 畳み込みフィルターの動的な学習 40 単層CNNによる手書き文字の分類 41 動的に学習されたフィルターの確認 42 演習（10） 43 演習（11） 44 演習（12） 45 多層型の畳み込みフィルターによる特徴抽出 46 Kerasによる多層CNNの実装 47 手書き文字の認識アプリケーション 48 フィルターの出力を最大化する画像の構成 49 予測への影響が大きい領域の検出 50 CIFAR-10（カラー写真画像）の分類に向けた拡張 51 オートエンコーダによるアノマリー検知 52 DCGAN による画像生成モデル 53 演習（13） 54 演習（14） 55 演習（15） 56 総合演習（1） 57 総合演習（2） 58 総合演習（3） 59 総合演習（4） 60 第2回効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	AIシステム開発		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択 I		
授業方法	実習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	予測モデルやディープラーニングを学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習		
達成目標	ディープラーニング理論を理解する		
教科書	フリーライブラリで学ぶ機械学習入門（秀和システム）		
特記			
授業計画	1	機械学習の理解	31
	2	予測モデルを作る（1）	32
	3	予測モデルを作る（2）	33
	4	予測モデルを作る（3）	34
	5	クラスタリング入門（1）	35
	6	クラスタリング入門（2）	36
	7	クラスタリング入門（3）	37
	8	演習（1）	38
	9	トピックモデル入門（1）	39
	10	トピックモデル入門（2）	40
	11	トピックモデル入門（3）	41
	12	レコメンデーション入門（1）	42
	13	レコメンデーション入門（2）	43
	14	レコメンデーション入門（3）	44
	15	演習（2）	45
	16	評判分析入門（1）	46
	17	評判分析入門（2）	47
	18	評判分析入門（3）	48
	19	画像認識入門（1）	49
	20	画像認識入門（2）	50
	21	画像認識入門（3）	51
	22	演習（3）	52
	23	ディープラーニング理論（1）	53
	24	ディープラーニング理論（2）	54
	25	ディープラーニング理論（3）	55
	26	ディープラーニング実践（1）	56
	27	ディープラーニング実践（2）	57
	28	ディープラーニング実践（3）	58
	29	演習（4）	59
	30	効果測定	60
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	クラウドネイティブ開発	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義・実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Lambda を用いてクラウドシステムのネットワーク体系を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	クラウドシステムの体系的な理解	
教科書	AWS Lambda実践ガイド（インプレス）	
特記		
授業計画	1 Lambda で実現するサーバーレスシステム 2 サンプル用 Lambda 関数の仕様 3 Lambda の利用に必要なアクセス権 4 Lambda 関数の作成 5 Lambda 関数の実行 6 演習（1） 7 演習（2） 8 演習（3） 9 イベントの発生とLambda 関数 10 Lambda コンテナ 11 Lambda 関数の実行 12 Lambda 関数を呼び出すイベントソース 13 定期的に Lambda 関数を実行する例 14 演習（4） 15 演習（5） 16 演習（6） 17 S3 のイベント事例 18 S3 バケットの作成 19 バケットに対するイベント 20 ライブラリ込みの Lambda 関数の作成 21 演習（7） 22 演習（8） 23 演習（9） 24 第1回効果測定 25 API Gateway のイベント事例 26 API Gateway と Lambda 関数を組み合わせる 27 API Gateway から実行される Lambda 関数を作る 28 DynamoDB の基本 29 Lambda 関数で DynamoDB にアクセスする 30 署名付き URL を発行する	31 メールの送信 32 クロスオリジンの場合の注意点 33 演習（10） 34 演習（11） 35 演習（12） 36 演習（13） 37 SQS と SNS トピックのイベント事例 38 DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理 39 S3 バケットとSQS を構成する 40 SQS からメッセージを取り出してメールを送信する 41 バウンスメールを処理する 42 演習（14） 43 演習（15） 44 演習（16） 45 第2回効果測定 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究開発 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 J	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発上流工程における開発ツールについて学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	要求定義ができるようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1 卒業研究とは 2 業界研究（1） 3 業界研究（2） 4 業界研究（3） 5 企画立案（1） 6 企画立案（2） 7 企画立案（3） 8 企画立案（4） 9 企画立案（5） 10 企画立案（6） 11 企画書の作成（1） 12 企画書の作成（2） 13 企画書の作成（3） 14 企画書の作成（4） 15 中間発表準備（1） 16 中間発表準備（2） 17 中間発表準備（3） 18 中間発表（1） 19 ドメインモデリングの理論 20 ドメインモデリングの実践 21 ドメインモデリング分析（1） 22 ドメインモデリング分析（2） 23 ユースケースモデリングの理論 24 ユースケースモデリングの実践 25 ユースケースモデリング分析（1） 26 ユースケースモデリング分析（2） 27 ユースケースモデリング分析（3） 28 ユースケースモデリング分析（4） 29 ユースケースモデリング分析（5） 30 ユースケースモデリング分析（6）	31 ユースケースモデリング分析（7） 32 ユースケースモデリング分析（8） 33 ユースケースモデリング分析（9） 34 ユースケースモデリング分析（10） 35 ユースケースモデリング分析（11） 36 ユースケースモデリング分析（12） 37 ユースケースモデリング分析（13） 38 ユースケースモデリング分析（14） 39 要求レビューの理論 40 要求レビューの実践 41 要求レビュー（1） 42 要求レビュー（2） 43 要求レビュー（3） 44 要求レビュー（4） 45 要求レビュー（5） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究開発Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発上流工程における外部設計について学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	ロバストネス分析の手法を理解し、シーケンス図が作成できるようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1 中間発表準備（1） 2 中間発表準備（2） 3 中間発表準備（3） 4 中間発表準備（4） 5 中間発表 6 ロバストネス分析の理論 7 ロバストネス分析の実践 8 ロバストネス分析（1） 9 ロバストネス分析（2） 10 ロバストネス分析（3） 11 ロバストネス分析（4） 12 ロバストネス分析（5） 13 ロバストネス分析（6） 14 ロバストネス分析（7） 15 ロバストネス分析（8） 16 予備設計レビューの理論 17 予備設計レビューの実践 18 予備設計レビュー（1） 19 予備設計レビュー（2） 20 予備設計レビュー（3） 21 予備設計レビュー（4） 22 予備設計レビュー（5） 23 予備設計レビュー（6） 24 予備設計レビュー（7） 25 予備設計レビュー（8） 26 テクニカルアーキテクチャの理論 27 テクニカルアーキテクチャの実践 28 シーケンス図作成の理論 29 シーケンス図作成の実践 30 シーケンス図作成（1）	31 シーケンス図作成（2） 32 シーケンス図作成（3） 33 シーケンス図作成（4） 34 シーケンス図作成（5） 35 シーケンス図作成（6） 36 シーケンス図作成（7） 37 シーケンス図作成（8） 38 シーケンス図作成（9） 39 シーケンス図作成（10） 40 シーケンス図作成（11） 41 シーケンス図作成（12） 42 シーケンス図作成（13） 43 シーケンス図作成（14） 44 シーケンス図作成（15） 45 シーケンス図作成（16） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発Ⅲ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報工学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択J			
授業方法	実習			
授業時間	90時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	システム開発上流工程における内部設計について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	詳細設計ができるようになる			
教科書	オリジナル教材			
特記	ITエンジニアとして従事していた教員による授業			
授業計画	1	シーケンス図作成（1）	31	プログラミング(開発)（1）
	2	シーケンス図作成（2）	32	プログラミング(開発)（2）
	3	シーケンス図作成（3）	33	プログラミング(開発)（3）
	4	シーケンス図作成（4）	34	プログラミング(開発)（4）
	5	シーケンス図作成（5）	35	プログラミング(開発)（5）
	6	シーケンス図作成（6）	36	プログラミング(開発)（6）
	7	シーケンス図作成（7）	37	プログラミング(開発)（7）
	8	シーケンス図作成（8）	38	プログラミング(開発)（8）
	9	シーケンス図作成（9）	39	プログラミング(開発)（9）
	10	シーケンス図作成（10）	40	プログラミング(開発)（10）
	11	シーケンス図作成（11）	41	プログラミング(開発)（11）
	12	シーケンス図作成（12）	42	プログラミング(開発)（12）
	13	シーケンス図作成（13）	43	プログラミング(開発)（13）
	14	シーケンス図作成（14）	44	プログラミング(開発)（14）
	15	シーケンス図作成（15）	45	プログラミング(開発)（15）
	16	シーケンス図作成（16）	46	
	17	詳細設計レビューの理論	47	
	18	詳細設計レビューの実践	48	
	19	詳細設計レビュー（1）	49	
	20	詳細設計レビュー（2）	50	
	21	詳細設計レビュー（3）	51	
	22	詳細設計レビュー（4）	52	
	23	詳細設計レビュー（5）	53	
	24	詳細設計レビュー（6）	54	
	25	詳細設計レビュー（7）	55	
	26	詳細設計レビュー（8）	56	
	27	詳細設計レビュー（9）	57	
	28	詳細設計レビュー（10）	58	
	29	詳細設計からコードへ	59	
	30	実装の実践	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発Ⅳ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報工学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択Ⅰ			
授業方法	実習			
授業時間	120時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	設計内容をもとにコーディングからプログラミングまでを学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	プログラミングできるようになる			
教科書	オリジナル教材			
特記	ITエンジニアとして従事していた教員による授業			
授業計画	1	プログラミング(開発) (1)	31	プログラミング(開発) (31)
	2	プログラミング(開発) (2)	32	プログラミング(開発) (32)
	3	プログラミング(開発) (3)	33	プログラミング(開発) (33)
	4	プログラミング(開発) (4)	34	プログラミング(開発) (34)
	5	プログラミング(開発) (5)	35	プログラミング(開発) (35)
	6	プログラミング(開発) (6)	36	プログラミング(開発) (36)
	7	プログラミング(開発) (7)	37	プログラミング(開発) (37)
	8	プログラミング(開発) (8)	38	プログラミング(開発) (38)
	9	プログラミング(開発) (9)	39	プログラミング(開発) (39)
	10	プログラミング(開発) (10)	40	プログラミング(開発) (40)
	11	プログラミング(開発) (11)	41	プログラミング(開発) (41)
	12	プログラミング(開発) (12)	42	プログラミング(開発) (42)
	13	プログラミング(開発) (13)	43	プログラミング(開発) (43)
	14	プログラミング(開発) (14)	44	プログラミング(開発) (44)
	15	プログラミング(開発) (15)	45	プログラミング(開発) (45)
	16	プログラミング(開発) (16)	46	プログラミング(開発) (46)
	17	プログラミング(開発) (17)	47	プログラミング(開発) (47)
	18	プログラミング(開発) (18)	48	プログラミング(開発) (48)
	19	プログラミング(開発) (19)	49	プログラミング(開発) (49)
	20	プログラミング(開発) (20)	50	プログラミング(開発) (50)
	21	プログラミング(開発) (21)	51	プログラミング(開発) (51)
	22	プログラミング(開発) (22)	52	プログラミング(開発) (52)
	23	プログラミング(開発) (23)	53	プログラミング(開発) (53)
	24	プログラミング(開発) (24)	54	プログラミング(開発) (54)
	25	プログラミング(開発) (25)	55	プログラミング(開発) (55)
	26	プログラミング(開発) (26)	56	プログラミング(開発) (56)
	27	プログラミング(開発) (27)	57	プログラミング(開発) (57)
	28	プログラミング(開発) (28)	58	プログラミング(開発) (58)
	29	プログラミング(開発) (29)	59	プログラミング(開発) (59)
	30	プログラミング(開発) (30)	60	プログラミング(開発) (60)
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究開発V	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択J	
授業方法	実習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	システム開発における下流工程（プログラミング・テスト）を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	プログラミングコンテストに出展するシステムの構築	
教科書	オリジナル教材	
特記	ITエンジニアとして従事していた教員による授業	
授業計画	1 卒業研究発表会準備（1） 2 卒業研究発表会準備（2） 3 卒業研究発表会準備（3） 4 卒業研究発表会準備（4） 5 卒業研究発表会 6 プログラミング(開発)（1） 7 プログラミング(開発)（2） 8 プログラミング(開発)（3） 9 プログラミング(開発)（4） 10 プログラミング(開発)（5） 11 プログラミング(開発)（6） 12 プログラミング(開発)（7） 13 プログラミング(開発)（8） 14 プログラミング(開発)（9） 15 プログラミング(開発)（10） 16 プログラミング(開発)（11） 17 プログラミング(開発)（12） 18 プログラミング(開発)（13） 19 プログラミング(開発)（14） 20 プログラミング(開発)（15） 21 プログラミング(開発)（16） 22 プログラミング(開発)（17） 23 プログラミング(開発)（18） 24 プログラミング(開発)（19） 25 プログラミング(開発)（20） 26 設計駆動テストの理論 27 設計駆動テストの実践 28 テストの実施（1） 29 テストの実施（2） 30 テストの実施（3）	31 テストの実践（4） 32 テストの実践（5） 33 テストの実践（6） 34 テストの実践（7） 35 テストの実践（8） 36 テストの実践（9） 37 テストの実践（10） 38 テストの実践（11） 39 テストの実践（12） 40 テストの実践（13） 41 テストの実践（14） 42 テストの実践（15） 43 テストの実践（16） 44 プログラミングコンテスト準備（1） 45 プログラミングコンテスト準備（2） 46 プログラミングコンテスト準備（3） 47 プログラミングコンテスト準備（4） 48 プログラミングコンテスト準備（5） 49 プログラミングコンテスト準備（6） 50 プログラミングコンテスト準備（7） 51 プログラミングコンテスト準備（8） 52 プログラミングコンテスト（1） 53 プログラミングコンテスト（2） 54 プログラミングコンテスト（3） 55 プログラミングコンテスト（4） 56 プログラミングコンテスト（5） 57 プログラミングコンテスト（6） 58 プログラミングコンテスト（7） 59 プログラミングコンテスト（8） 60 卒業研究振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践数的 I 数的推理		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択K		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	方程式（方程式、不等式、過不足算）	31
	2	方程式（平均算・過不足算）、整数・計算パズル（約数と倍数）	32
	3	整数・計算パズル（割り算の余り～覆面算）	33
	4	整数・計算パズル（n進法）、割合と比（割合）	34
	5	割合と比（比）	35
	6	割合と比（売買算）	36
	7	割合と比（濃度）	37
	8	速さ（速さ）	38
	9	速さ（旅人算）	39
	10	速さ（通過算、流水算、時計算）	40
	11	仕事算（仕事算、給排水算、ニュートン算）	41
	12	場合の数（場合の数、順列）	42
	13	場合の数（順列、組合せ）	43
	14	場合の数（道順）、確率（事象と確率、赤玉白玉、くじ引き）	44
	15	確率（赤玉白玉、くじ引き、サイコロ・コイン）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																																																																											
授業科目	実践数的Ⅱ 判断推理																																																																																											
実務家教員授業																																																																																												
学部・学科	情報工学科 2年制																																																																																											
履修年次	2年次																																																																																											
開講学期	後期																																																																																											
科目区分	選択K																																																																																											
授業方法	講義																																																																																											
授業時間	20時間																																																																																											
授業コマ数	10コマ																																																																																											
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する																																																																																											
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																																																																																											
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する																																																																																											
教科書	オリジナルテキスト																																																																																											
特記																																																																																												
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>論理</td><td>31</td></tr> <tr><td>2</td><td>集合の要素の個数</td><td>32</td></tr> <tr><td>3</td><td>順序（順序の決定）</td><td>33</td></tr> <tr><td>4</td><td>順序（順序の変動、順序の数値条件）</td><td>34</td></tr> <tr><td>5</td><td>対応（対応関係）</td><td>35</td></tr> <tr><td>6</td><td>対応（対応の数値条件、スケジュール）</td><td>36</td></tr> <tr><td>7</td><td>位置と方位（位置）</td><td>37</td></tr> <tr><td>8</td><td>勝ち負け、カード・ゲーム</td><td>38</td></tr> <tr><td>9</td><td>ウソの発言、推理・手順</td><td>39</td></tr> <tr><td>10</td><td>暗号、家系図</td><td>40</td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td>41</td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td>42</td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td>43</td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td>44</td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td>45</td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td>46</td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td>47</td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td>48</td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td>49</td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td>50</td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td>51</td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td>52</td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td>53</td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td>54</td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td>55</td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td>56</td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td>57</td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td>58</td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td>59</td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td>60</td></tr> </table>	1	論理	31	2	集合の要素の個数	32	3	順序（順序の決定）	33	4	順序（順序の変動、順序の数値条件）	34	5	対応（対応関係）	35	6	対応（対応の数値条件、スケジュール）	36	7	位置と方位（位置）	37	8	勝ち負け、カード・ゲーム	38	9	ウソの発言、推理・手順	39	10	暗号、家系図	40	11		41	12		42	13		43	14		44	15		45	16		46	17		47	18		48	19		49	20		50	21		51	22		52	23		53	24		54	25		55	26		56	27		57	28		58	29		59	30		60	
1	論理	31																																																																																										
2	集合の要素の個数	32																																																																																										
3	順序（順序の決定）	33																																																																																										
4	順序（順序の変動、順序の数値条件）	34																																																																																										
5	対応（対応関係）	35																																																																																										
6	対応（対応の数値条件、スケジュール）	36																																																																																										
7	位置と方位（位置）	37																																																																																										
8	勝ち負け、カード・ゲーム	38																																																																																										
9	ウソの発言、推理・手順	39																																																																																										
10	暗号、家系図	40																																																																																										
11		41																																																																																										
12		42																																																																																										
13		43																																																																																										
14		44																																																																																										
15		45																																																																																										
16		46																																																																																										
17		47																																																																																										
18		48																																																																																										
19		49																																																																																										
20		50																																																																																										
21		51																																																																																										
22		52																																																																																										
23		53																																																																																										
24		54																																																																																										
25		55																																																																																										
26		56																																																																																										
27		57																																																																																										
28		58																																																																																										
29		59																																																																																										
30		60																																																																																										
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験																																																																																											
備考																																																																																												

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅱ		
授業方法	講義		
授業時間	24時間		
授業コマ数	12コマ		
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読みとく力を短期間で習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	折り紙、回転の軌跡	31
	2	正多面体、展開図	32
	3	平面図形の構成、サイコロ、見取り図と投影図、積木	33
	4	積木、立体の切断、回転体	34
	5	一筆書き、平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理）	35
	6	平面図形の計量（三平方の定理、相似比、中点連結定理）	36
	7	平面図形の計量（底辺分割定理、相似比と面積比）	37
	8	平面図形の計量（角度、円周角の定理、接弦定理、円の接線の長さ）	38
	9	平面図形の計量（内接円、円弧の長さ）、資料解釈（実数・割合）	39
	10	平面図形の計量（扇形の面積）、資料解釈（構成比）	40
	11	立体図形の計量（立体の体積、回転体の体積）、資料解釈（構成比、指数）	41
	12	立体図形の計量（断面積、表面積、体積比）、資料解釈（増加率）	42
	13		43
	14		44
	15		45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践社会科学 I 政治		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択K		
授業方法	講義		
授業時間	20時間		
授業コマ数	10コマ		
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	政治の基本理念、国家論	31
	2	政治制度論	32
	3	基本的人権総論、包括的基本権	33
	4	自由権	34
	5	社会権	35
	6	国会の機構と運営	36
	7	内閣の機構と運営	37
	8	裁判所の機構と運営	38
	9	地方自治	39
	10	選挙制度	40
	11		41
	12		42
	13		43
	14		44
	15		45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践社会科学Ⅱ 経済		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅱ		
授業方法	講義		
授業時間	24時間		
授業コマ数	12コマ		
授業概要	経済分野と社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	政治の基本理念、国家論	31
	2	政治制度論	32
	3	基本的人権総論、包括的基本権	33
	4	自由権	34
	5	社会権	35
	6	国会の機構と運営	36
	7	内閣の機構と運営	37
	8	裁判所の機構と運営	38
	9	地方自治	39
	10	選挙制度	40
	11		41
	12		42
	13		43
	14		44
	15		45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践人文科学 I 地理		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択K		
授業方法	講義		
授業時間	20時間		
授業コマ数	10コマ		
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	世界の地形	31
	2	世界の気候	32
	3	世界の農業	33
	4	世界の資源	34
	5	世界の工業	35
	6	地図の特色と利用	36
	7	生活と地域	37
	8	日本地誌	38
	9	世界地誌（アジア・アフリカ）	39
	10	世界地誌（ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア）	40
	11		41
	12		42
	13		43
	14		44
	15		45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践人文科学Ⅱ 歴史		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅱ		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 鎌倉時代 4 室町時代 5 封建社会の確立 6 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 7 江戸時代（幕末）、明治維新 8 立憲体制の確立 9 近代文化の発展 10 大正、昭和 11 中国史1（殷～漢） 12 中国史2（魏晉南北朝～隋・唐） 13 中国史3（宋・元） 14 中国史4（明・清） 15 中国史5（清の崩壊・中華民国） 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践言語Ⅰ 文理・国語		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅱ		
授業方法	講義		
授業時間	15時間		
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分		
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身に付ける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	要旨把握①、四字熟語①	31
	2	要旨把握②、四字熟語②	32
	3	内容合致①、ことわざ①	33
	4	内容合致②、ことわざ②	34
	5	文章整除①、文法基礎①	35
	6	文章整除②、文法基礎②	36
	7	文章の穴埋め①、敬語①	37
	8	文章の穴埋め②、敬語②	38
	9		39
	10		40
	11		41
	12		42
	13		43
	14		44
	15		45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践演習Ⅰ 数的処理		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅱ		
授業方法	演習		
授業時間	24時間		
授業コマ数	12コマ		
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う		
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る		
教科書	スタンダード問題集		
特記			
授業計画	1	方程式・不等式・整数・計算パズル	31
	2	割合と比	32
	3	速さ・仕事算	33
	4	場合の数・確率	34
	5	論理・集合と要素の個数	35
	6	順序・対応	36
	7	位置と方位・勝ち負け・カード・ウソの発言	37
	8	推理・手順・暗号・家系図	38
	9	折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図・平面図形の構成	39
	10	サイコロ・見取り図と投影図・積木・立体の切断・回転体・一筆書き	40
	11	平面図形の計量	41
	12	立体図形の計量・資料解釈	42
	13		43
	14		44
	15		45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践演習Ⅱ 社会科学		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅱ		
授業方法	演習		
授業時間	23時間		
授業コマ数	14コマ		
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う		
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着		
教科書	スタンダード問題集		
特記			
授業計画	1	政治の基本理念、政治制度論	31
	2	基本的人権①	32
	3	基本的人権②	33
	4	国会の機構と運営	34
	5	内閣の機構と運営	35
	6	裁判所の機構と運営	36
	7	地方自治、選挙制度	37
	8	現代の企業、現代の市場	38
	9	国民所得	39
	10	通貨制度と金融政策	40
	11	財政制度と財政政策	41
	12	貿易と外国為替	42
	13	社会総合①	43
	14	社会総合②	44
	15		45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 100問の知識習得状況を測定する試験		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択K	
授業方法	演習	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着	
教科書	スタンダード問題集・オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 日本史（原始、古代） 2 日本史（中世、近世①） 3 日本史（近世②、近代①） 4 日本史（近代②、現代・通史） 5 地理（自然環境と地図） 6 地理（資源と産業、生活と地域） 7 地理（日本の地理） 8 地理（世界の地理） 9 世界史（東洋世界） 10 世界史（現代世界） 11 倫理（西洋思想） 12 倫理（東洋思想） 13 社会総合① 14 社会総合② 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	実践答案練習 I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択K		
授業方法	演習		
授業時間	48時間		
授業コマ数	24コマ		
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ		
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する		
達成目標	第20回目以降の模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする		
教科書	模擬試験		
特記			
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①	31
	2	基礎的なレベルの模擬試験②	32
	3	基礎的なレベルの模擬試験③	33
	4	基礎的なレベルの模擬試験④	34
	5	基礎的なレベルの模擬試験⑤	35
	6	基礎的なレベルの模擬試験⑥	36
	7	基礎的なレベルの模擬試験⑦	37
	8	基礎的なレベルの模擬試験⑧	38
	9	基礎的なレベルの模擬試験⑨	39
	10	基礎的なレベルの模擬試験⑩	40
	11	基礎的なレベルの模擬試験⑪	41
	12	基礎的なレベルの模擬試験⑫	42
	13	基礎的なレベルの模擬試験⑬	43
	14	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑭	44
	15	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑮	45
	16	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑯	46
	17	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑰	47
	18	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑱	48
	19	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑲	49
	20	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑳	50
	21	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験㉑	51
	22	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験㉒	52
	23	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験㉓	53
	24	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験㉔	54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	第1回～第19回までは模擬試験の取り組み姿勢、第20回～第24回までは模擬試験成績にて評価		
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択K	
授業方法	演習	
授業時間	108時間	
授業コマ数	54コマ	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1 国家公務員タイプの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 国家公務員タイプの模擬試験② 4 模擬試験②の解説 5 国家公務員タイプの模擬試験③ 6 模擬試験③の解説 7 国家公務員タイプの模擬試験④ 8 模擬試験④の解説 9 国家公務員タイプの模擬試験⑤ 10 模擬試験⑤の解説 11 国家公務員タイプの模擬試験⑥ 12 模擬試験⑥の解説 13 国家公務員タイプの模擬試験⑦ 14 模擬試験⑦の解説 15 国家公務員タイプの模擬試験⑧ 16 模擬試験⑧の解説 17 国家公務員タイプの模擬試験⑨ 18 模擬試験⑨の解説 19 国家公務員タイプの模擬試験⑩ 20 模擬試験⑩の解説 21 国家公務員タイプの模擬試験⑪ 22 模擬試験⑪の解説 23 国家公務員タイプの模擬試験⑫ 24 模擬試験⑫の解説 25 国家公務員タイプの模擬試験⑬ 26 模擬試験⑬の解説 27 地方公務員タイプの模擬試験① 28 模擬試験①の解説 29 地方公務員タイプの模擬試験② 30 模擬試験②の解説	31 地方公務員タイプの模擬試験③ 32 模擬試験③の解説 33 地方公務員タイプの模擬試験④ 34 模擬試験④の解説 35 地方公務員タイプの模擬試験⑤ 36 模擬試験⑤の解説 37 地方公務員タイプの模擬試験⑥ 38 模擬試験⑥の解説 39 地方公務員タイプの模擬試験⑦ 40 模擬試験⑦の解説 41 地方公務員タイプの模擬試験⑧ 42 模擬試験⑧の解説 43 地方公務員タイプの模擬試験⑨ 44 模擬試験⑨の解説 45 地方公務員タイプの模擬試験⑩ 46 模擬試験⑩の解説 47 地方公務員タイプの模擬試験⑪ 48 模擬試験⑪の解説 49 地方公務員タイプの模擬試験⑫ 50 模擬試験⑫の解説 51 地方公務員タイプの模擬試験⑬ 52 模擬試験⑬の解説 53 地方公務員タイプの模擬試験⑭ 54 模擬試験⑭の解説 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	公務員時事対策		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択K		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ		
授業の進め方	重要な時事ワードを軸にその内容を解説し、問題演習まで行う		
達成目標	現代社会の幅広い知識を身に付ける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	時事（政治①）	31
	2	時事（政治②）	32
	3	時事（政治③）	33
	4	時事（経済①）	34
	5	時事（経済②）	35
	6	時事（文化①）	36
	7	時事（文化②）	37
	8	時事（文化③）	38
	9	時事（科学①）	39
	10	時事（科学②）	40
	11	時事（科学③）	41
	12	時事（科学④）	42
	13	時事（科学⑤）	43
	14	時事（国際問題①）	44
	15	時事（国際問題②）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅱ		
授業方法	演習		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する		
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う		
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける		
教科書	オリジナルテキスト・実戦問題集・模擬試験		
特記			
授業計画	1	適性試験パターンⅠの解答方法	31
	2	適性試験パターンⅠの練習	32
	3	適性試験パターンⅡの解答方法	33
	4	適性試験パターンⅡの練習	34
	5	適性試験パターンⅢの解答方法	35
	6	適性試験パターンⅢの練習	36
	7	適性試験練習①	37
	8	適性試験練習②	38
	9	適性試験練習③	39
	10	適性試験練習④	40
	11	適性試験練習⑤	41
	12	適性試験練習⑥	42
	13	模擬試験（適性試験）①	43
	14	模擬試験（適性試験）②	44
	15	模擬試験（適性試験）③	45
	16	模擬試験（適性試験）④	46
	17	模擬試験（適性試験）⑤	47
	18	模擬試験（適性試験）⑥	48
	19	模擬試験（適性試験）⑦	49
	20	模擬試験（適性試験）⑧	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	公務員教養論作文対策		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択K		
授業方法	演習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う		
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う		
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身に付ける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	論作文の書き方と正しい用紙の使い方	31
	2	試験種別作文テーマの傾向	32
	3	基本テーマによる論作文	33
	4	添削および返却答案の修正	34
	5	模範論作文の研究	35
	6	論作文練習①	36
	7	論作文練習②	37
	8	論作文練習③	38
	9	論作文練習④	39
	10	論作文練習⑤	40
	11	論作文練習⑥	41
	12	論作文練習⑦	42
	13	論作文練習⑧	43
	14	論作文練習⑨	44
	15	論作文練習⑩	45
	16		46
17		47	
18		48	
19		49	
20		50	
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、提出した論作文の完成度		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ビジネスマナー		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択L		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する		
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ		
特記			
授業計画	1	学校と職場の違い（1）	31
	2	学校と職場の違い（2）	32
	3	学校と職場の違い（3）	33
	4	職場のマナー（1）	34
	5	職場のマナー（2）	35
	6	職場のマナー（3）	36
	7	仕事の進め方（1）	37
	8	仕事の進め方（2）	38
	9	仕事の進め方（3）	39
	10	報告、連絡、相談（1）	40
	11	報告、連絡、相談（2）	41
	12	報告、連絡、相談（3）	42
	13	挨拶（1）	43
	14	挨拶（2）	44
	15	挨拶（3）	45
	16	笑顔、お辞儀（1）	46
	17	笑顔、お辞儀（2）	47
	18	笑顔、お辞儀（3）	48
	19	敬語（1）	49
	20	敬語（2）	50
	21	敬語（3）	51
	22	応対の基本（1）	52
	23	応対の基本（2）	53
	24	応対の基本（3）	54
	25	電話応対（1）	55
	26	電話応対（2）	56
	27	電話応対（3）	57
	28	効果測定（1）	58
	29	効果測定（2）	59
	30	効果測定（3）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	販売仕入管理		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅰ		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義		
授業の進め方	講義と実践演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	売買の事務手続きを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	売上事務の流れ	31
	2	納品書の作成と売上計上（1）	32
	3	納品書の作成と売上計上（2）	33
	4	請求書の作成と代金回収管理（1）	34
	5	請求書の作成と代金回収管理（2）	35
	6	請求書の作成と代金回収管理（3）	36
	7	複数の得意先との取引（1）	37
	8	複数の得意先との取引（2）	38
	9	複数の得意先との取引（3）	39
	10	仕入事務の流れ	40
	11	仕入管理の記帳（1）	41
	12	仕入管理の記帳（2）	42
	13	仕入代金の支払いと買掛金管理（1）	43
	14	仕入代金の支払いと買掛金管理（2）	44
	15	仕入代金の支払いと買掛金管理（3）	45
	16		46
	17		47
18		48	
19		49	
20		50	
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	コミュニケーション実践		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択L		
授業方法	演習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ		
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る		
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける		
教科書	オリジナル教材		
特記			
授業計画	1	グループディスカッションとは	31
	2	グループディスカッションの役割	32
	3	抽象テーマ型グループディスカッション（1）	33
	4	抽象テーマ型グループディスカッション（2）	34
	5	抽象テーマ型グループディスカッション（3）	35
	6	課題解決型グループディスカッション（1）	36
	7	課題解決型グループディスカッション（2）	37
	8	課題解決型グループディスカッション（3）	38
	9	資料読み取り型グループディスカッション（1）	39
	10	資料読み取り型グループディスカッション（2）	40
	11	資料読み取り型グループディスカッション（3）	41
	12	フェルミ推定	42
	13	KJ法	43
	14	その他特殊型（1）	44
	15	その他特殊型（2）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	プレゼンテーション		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択L		
授業方法	実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	企画から発表までの一連の流れ		
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る		
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	プレゼンテーションとは何か	31
	2	プレゼンテーションの種類	32
	3	企画、情報収集、シナリオ作成（1）	33
	4	企画、情報収集、シナリオ作成（2）	34
	5	企画、情報収集、シナリオ作成（3）	35
	6	企画、情報収集、シナリオ作成（4）	36
	7	企画、情報収集、シナリオ作成（5）	37
	8	企画、情報収集、シナリオ作成（6）	38
	9	企画、情報収集、シナリオ作成（7）	39
	10	企画、情報収集、シナリオ作成（8）	40
	11	企画、情報収集、シナリオ作成（9）	41
	12	企画、情報収集、シナリオ作成（10）	42
	13	コンテンツ作成	43
	14	話し方	44
15	発表	45	
16		46	
17		47	
18		48	
19		49	
20		50	
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	時事		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅰ		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	主要な時事用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習		
授業の進め方	講義と実践演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	用語知識（1）	31
	2	用語知識（2）	32
	3	用語知識（3）	33
	4	用語知識（4）	34
	5	考え方（1）	35
	6	考え方（2）	36
	7	考え方（3）	37
	8	考え方（4）	38
	9	発表（1）	39
	10	発表（2）	40
	11	発表（3）	41
	12	個人研究（1）	42
	13	個人研究（2）	43
	14	個人研究（3）	44
	15		45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	事務職ビジネスマナー		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択L-1		
授業方法	実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする		
授業の進め方	講義と実践演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習をし、習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	事務職の1日の流れ	31
	2	電話応対応用（1）	32
	3	電話応対応用（2）	33
	4	電話応対応用（3）	34
	5	接遇の流れ（1）	35
	6	接遇の流れ（2）	36
	7	接遇の流れ（3）	37
	8	演習（ロールプレイング）（1）	38
	9	演習（ロールプレイング）（2）	39
	10	演習（ロールプレイング）（3）	40
	11	演習（ロールプレイング）（4）	41
	12	演習（ロールプレイング）（5）	42
	13	演習（ロールプレイング）（6）	43
	14	効果測定（1）	44
	15	効果測定（2）	45
	16		46
		47	
		48	
		49	
		50	
		51	
		52	
		53	
		54	
		55	
		56	
		57	
		58	
		59	
		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	経理実務		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅰ-1		
授業方法	講義		
授業時間	60時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	経理実務の業務内容を体系的に学ぶ。特に納税等の帳票書類について知識を習得する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	経理実務の業務フローを理解する。特に所得税・住民税・社会保険料を理解ができる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム	31
	2	小切手・手形の実務上のポイント	32
	3	入出金伝票と現金出納帳	33
	4	当座預金出納帳と手形記入帳	34
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分	35
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（1）	36
	7	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（2）	37
	8	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（3）	38
	9	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（4）	39
	10	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（5）	40
	11	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（6）	41
	12	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務（1）	42
	13	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務（2）	43
	14	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務（3）	44
	15	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）（1）	45
	16	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）（2）	46
	17	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）（3）	47
	18	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）（1）	48
	19	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）（2）	49
	20	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）（3）	50
	21	個人住民税の徴収及び納付（1）	51
	22	個人住民税の徴収及び納付（2）	52
	23	印紙税の基礎知識	53
	24	受取利息の会計処理	54
	25	消費税法の概要（1）	55
	26	消費税法の概要（2）	56
	27	消費税の会計処理	57
	28	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）（1）	58
	29	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）（2）	59
	30	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）（3）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	給与計算実務		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅰ-1		
授業方法	講義		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	所得税・住民税を体系的に理解する。特に年末調整事務に必要な知識を習得する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	所得税の基礎知識（1）	31
	2	所得税の基礎知識（2）	32
	3	所得税の基礎知識（3）	33
	4	年末調整のしかた（1）	34
	5	年末調整のしかた（2）	35
	6	年末調整のしかた（3）	36
	7	法定調書の流れ（1）	37
	8	法定調書の流れ（2）	38
	9	法定調書の流れ（3）	39
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出（1）	40
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出（2）	41
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出（3）	42
	13	労働保険の概要及び会計処理（1）	43
	14	労働保険の概要及び会計処理（2）	44
	15	労働保険の概要及び会計処理（3）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ⅰ-1	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	財務会計の意義や制度を理解し、財務諸表作成に係わる知識と技術を習得する	
授業の進め方	講義と実践演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	財務会計の意義や制度を理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 外貨建会計（1） 2 外貨建会計（2） 3 外貨建会計（3） 4 外貨建会計（4） 5 リース取引（1） 6 リース取引（2） 7 リース取引（3） 8 リース取引（4） 9 キャッシュ・フロー計算書（1） 10 キャッシュ・フロー計算書（2） 11 キャッシュ・フロー計算書（3） 12 キャッシュ・フロー計算書（4） 13 キャッシュ・フロー計算書（5） 14 キャッシュ・フロー計算書（6） 15 税効果会計（1） 16 税効果会計（2） 17 税効果会計（3） 18 税効果会計（4） 19 税効果会計（5） 20 税効果会計（6） 21 退職給付会計（1） 22 退職給付会計（2） 23 退職給付会計（3） 24 退職給付会計（4） 25 退職給付会計（5） 26 消費税法（1） 27 消費税法（2） 28 消費税法（3） 29 消費税法（4） 30 消費税法（5）	31 消費税法（6） 32 消費税法（7） 33 消費税法（8） 34 消費税法（9） 35 消費税法（10） 36 法人税法（1） 37 法人税法（2） 38 法人税法（3） 39 法人税法（4） 40 法人税法（5） 41 法人税法（6） 42 法人税法（7） 43 法人税法（8） 44 法人税法（9） 45 法人税法（10） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	経理キャリアデザインⅢ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択Ⅰ-1		
授業方法	演習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習		
授業の進め方	講義と実践演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀	31
	2	正しい敬語の使い方	32
	3	状況に応じた言葉遣い	33
	4	演習（1）	34
	5	演習（2）	35
	6	効果測定（1）	36
	7	効果測定（2）	37
	8	応対の基本	38
	9	名刺交換	39
	10	演習（1）	40
	11	演習（2）	41
	12	総合演習（1）	42
	13	総合演習（2）	43
	14	効果測定（1）	44
	15	効果測定（2）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	事務キャリアデザインVI		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択L-1		
授業方法	実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習		
授業の進め方	講義と実践演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	状況別オフィスワーク	31
	2	総合ロールプレイング（1）	32
	3	総合ロールプレイング（2）	33
	4	総合ロールプレイング（3）	34
	5	総合ロールプレイング（4）	35
	6	総合ロールプレイング（5）	36
	7	総合ロールプレイング（6）	37
	8	総合ロールプレイング（7）	38
	9	総合ロールプレイング（8）	39
	10	総合ロールプレイング（9）	40
	11	総合ロールプレイング（10）	41
	12	総合ロールプレイング（11）	42
	13	効果測定（1）	43
	14	効果測定（2）	44
	15	効果測定（3）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	パソコン実習Ⅲ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅰ-1		
授業方法	実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	文章作成ソフト、表計算ソフトの効果的な利用方法について学ぶ		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	文章作成ソフト：効率的な長文編集。表計算ソフト：効果的なグラフ作成。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	文書の作成と管理（1）	31
	2	文書の作成と管理（2）	32
	3	文書の作成と管理（3）	33
	4	数式・関数を活用した集計表の作成（1）	34
	5	数式・関数を活用した集計表の作成（2）	35
	6	数式・関数を活用した集計表の作成（3）	36
	7	ワークシート間の集計（1）	37
	8	ワークシート間の集計（2）	38
	9	ワークシート間の集計（3）	39
	10	グラフの基本（1）	40
	11	グラフの基本（2）	41
	12	グラフの基本（3）	42
	13	目的に応じたグラフの作成と編集（1）	43
	14	目的に応じたグラフの作成と編集（2）	44
	15	目的に応じたグラフの作成と編集（3）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	パソコン実習Ⅳ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択Ⅰ-1		
授業方法	実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	文章作成ソフト、表計算ソフトの効果的な利用方法について学ぶ		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	文章作成：ビジネス文章の作成 表計算：ピボットテーブル、マクロ機能の習得		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	文書の作成と管理（1）	31
	2	文書の作成と管理（2）	32
	3	文書の作成と管理（3）	33
	4	データベース機能の利用（1）	34
	5	データベース機能の利用（2）	35
	6	データベース機能の利用（3）	36
	7	データの抽出（1）	37
	8	データの抽出（2）	38
	9	データの抽出（3）	39
	10	ピボットテーブル（1）	40
	11	ピボットテーブル（2）	41
	12	ピボットテーブル（3）	42
	13	マクロによる作業の自動化（1）	43
	14	マクロによる作業の自動化（2）	44
	15	マクロによる作業の自動化（3）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	接遇ビジネスマナー		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択L-2		
授業方法	実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する		
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ		
特記			
授業計画	1	接遇マナーとは	31
	2	接遇の心構え	32
	3	お茶の入れ方、出し方	33
	4	お見送り	34
	5	後片付け	35
	6	接遇の流れ（1）	36
	7	接遇の流れ（2）	37
	8	演習（1）	38
	9	演習（2）	39
	10	演習（3）	40
	11	演習（4）	41
	12	演習（5）	42
	13	演習（6）	43
	14	効果測定（1）	44
	15	効果測定（2）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	流通キャリアデザインVI		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択L-2		
授業方法	実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習		
授業の進め方	講義と実践演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	商品説明知識	31
	2	好感を持たれる商品説明	32
	3	演習（1）	33
	4	演習（2）	34
	5	クレームとは	35
	6	電話でのクレーム応対方法	36
	7	演習（1）	37
	8	演習（2）	38
	9	店内でのクレーム応対方法	39
	10	演習（1）	40
	11	演習（2）	41
	12	総合演習（1）	42
	13	総合演習（2）	43
	14	効果測定（1）	44
	15	効果測定（2）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択L-2	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	講義と実践演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは（1） 2 接客販売、営業マナーとは（2） 3 接客販売、営業マナーとは（3） 4 接客販売の心得（1） 5 接客販売の心得（2） 6 接客販売の心得（3） 7 お客様の心理（1） 8 お客様の心理（2） 9 お客様の心理（3） 10 店内接客の基本（1） 11 店内接客の基本（2） 12 店内接客の基本（3） 13 演習（1） 14 演習（2） 15 演習（3） 16 営業の心得（1） 17 営業の心得（2） 18 営業の心得（3） 19 営業の心得（4） 20 訪問の流れ（1） 21 訪問の流れ（2） 22 訪問の流れ（3） 23 訪問の流れ（4） 24 演習（1） 25 演習（2） 26 演習（3） 27 商談の進め方（1） 28 商談の進め方（2） 29 商談の進め方（3） 30 商談の進め方（4）	31 商品説明（1） 32 商品説明（2） 33 商品説明（3） 34 商品説明（4） 35 商品説明（5） 36 演習（1） 37 演習（2） 38 演習（3） 39 演習（4） 40 総合演習（1） 41 総合演習（2） 42 総合演習（3） 43 効果測定（1） 44 効果測定（2） 45 効果測定（3） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択L-2	
授業方法	実習	
授業時間	180時間	
授業コマ数	90コマ	
授業概要	実店舗のセグメンテーション、ターゲティング、マーケティングミックス	
授業の進め方	グループワーク形式でマーケティングを行い、プレゼンテーションを実施	
達成目標	マーケティング分析技法、プレゼンテーション技法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 オリエンテーション① 2 オリエンテーション② 3 オリエンテーション③ 4 オリエンテーション④ 5 業界情報収集① 6 業界情報収集② 7 業界情報収集③ 8 業界情報収集④ 9 業界情報収集⑤ 10 業界情報収集⑥ 11 業界情報収集⑦ 12 業界情報収集⑧ 13 業界分析① 14 業界分析② 15 業界分析③ 16 業界分析④ 17 業界分析⑤ 18 業界分析⑥ 19 業界分析⑦ 20 業界分析⑧ 21 業界分析⑨ 22 業界分析⑩ 23 業界分析⑪ 24 業界分析⑫ 25 業界分析⑬ 26 業界分析⑭ 27 業界分析⑮ 28 業界分析⑯ 29 店舗見学① 30 店舗見学②	31 店舗見学③ 32 店舗見学（分析①） 33 店舗見学（分析②） 34 店舗見学（分析③） 35 店舗見学（分析④） 36 店舗見学（分析⑤） 37 店舗見学（分析⑥） 38 店舗見学（分析⑦） 39 店舗見学（分析⑧） 40 店舗見学（分析⑨） 41 店舗見学（分析⑩） 42 店舗見学（課題抽出①） 43 店舗見学（課題抽出②） 44 店舗見学（課題抽出③） 45 店舗見学（課題抽出④） 46 店舗見学（課題抽出⑤） 47 店舗見学（課題抽出⑥） 48 店舗見学（課題抽出⑦） 49 店舗見学（課題抽出⑧） 50 店舗見学（仮説立案①） 51 店舗見学（仮説立案②） 52 店舗見学（仮説立案③） 53 店舗見学（仮説立案④） 54 立案仮説（調査・検証①） 55 立案仮説（調査・検証②） 56 立案仮説（調査・検証③） 57 立案仮説（調査・検証④） 58 立案仮説（調査・検証⑤） 59 立案仮説（調査・検証⑥） 60 立案仮説（調査・検証⑦）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	卒業研究		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択L-2		
授業方法	実習		
授業時間	180時間		
授業コマ数	90コマ		
授業概要	実店舗のセグメンテーション、ターゲティング、マーケティングミックス		
授業の進め方	グループワーク形式でマーケティングを行い、プレゼンテーションを実施		
達成目標	マーケティング分析技法、プレゼンテーション技法を習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	61	立案仮説（調査・検証⑧）	91
	62	発表・企画案作成①	92
	63	発表・企画案作成②	93
	64	発表・企画案作成③	94
	65	発表・企画案作成④	95
	66	発表・企画案作成⑤	96
	67	発表・企画案作成⑥	97
	68	発表・企画案作成⑦	98
	69	発表・企画案作成⑧	99
	70	研究結果中間発表①	100
	71	研究結果中間発表②	101
	72	研究結果中間発表③	102
	73	研究結果中間発表④	103
	74	研究結果中間発表⑤	104
	75	研究結果中間発表⑥	105
	76	企画案再検証①	106
	77	企画案再検証②	107
	78	企画案再検証③	108
	79	企画案再検証④	109
	80	企画案再検証⑤	110
81	企画案再検証⑥	111	
82	研究結果最終発表①	112	
83	研究結果最終発表②	113	
84	研究結果最終発表③	114	
85	研究結果最終発表④	115	
86	研究結果最終発表⑤	116	
87	代表者コンテスト①	117	
88	代表者コンテスト②	118	
89	代表者コンテスト③	119	
90	代表者コンテスト④	120	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	AIアーキテクチャ I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報工学科 2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択M		
授業方法	講義・実習		
授業時間	30時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	深層強化学習の基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	深層強化学習を理解する		
教科書	つくりながら学ぶ深層強化学習（マイナビ）		
特記			
授業計画	1	強化学習の概要	31
	2	迷路とエージェントを実装（1）	32
	3	迷路とエージェントを実装（2）	33
	4	方策反復法の実装（1）	34
	5	方策反復法の実装（2）	35
	6	価値反復法の専門用語を整理	36
	7	Sarsaの実装（1）	37
	8	Sarsaの実装（2）	38
	9	Q学習の実装（1）	39
	10	Q学習の実装（2）	40
	11	演習（1）	41
	12	演習（2）	42
	13	演習（3）	43
	14	演習（4）	44
	15	効果測定	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	先端プログラミング言語	
実務家教員授業		
学部・学科	情報工学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択M	
授業方法	講義・実習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	Go言語を用いたプログラミング技術基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	Go言語の習得	
教科書	改訂2版 基礎からわかるGo言語	
特記		
授業計画	1 Go言語による開発の概要 2 基本的文法、コンパイルと実行、キーワード 3 基本的型、型の宣言、変換 4 演算子 5 代入、変数、リテラル、定数 6 パッケージ、インポート・エクスポート 7 繰り返し処理 8 条件分岐 9 ポインタ（1） 10 ポインタ（2） 11 ポインタ（3） 12 ゼロ値、ラベル 13 関数（1） 14 関数（2） 15 関数（3） 16 メソッド（1） 17 メソッド（2） 18 メソッド（3） 19 関数の遅延実行 20 構造体（1） 21 構造体（2） 22 特殊なフィールド 23 構造体の初期化 24 インタフェース（1） 25 インタフェース（2） 26 インタフェースの埋め込み（1） 27 インタフェースの埋め込み（2） 28 型の変換 29 第1回効果測定 30 配列	31 配列の初期化 32 スライス（1） 33 スライス（2） 34 スライスの初期化 35 マップ（1） 36 マップ（2） 37 マップの初期化 38 戻り値によるエラーハンドリング 39 パニックとリカバリ 40 ランタイムパニック 41 ゴルーチン（1） 42 ゴルーチン（2） 43 ゴルーチン間における通信（1） 44 ゴルーチン間における通信（2） 45 select文 46 入出力（1） 47 入出力（2） 48 ファイルシステム（1） 49 ファイルシステム（2） 50 データ処理（1） 51 データ処理（2） 52 日付・時刻（1） 53 日付・時刻（2） 54 文字列 55 文字列と数値の相互変換 56 数学処理 57 ネットワーク（1） 58 ネットワーク（1） 59 ログ出力 60 第2回効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考		